コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）2014
実施報告書

CoFesta
2014

コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）実行委員会

目次

【はじめに】

コ・フェスタ 2014 実施報告書発行にあたり……2

【運営体制】

コ・フェスタとは？／運営組織／
コ・フェスタ実行委員会……3

コ・フェスタ実行委員会　委員一覧……4

【開催概要】

コ・フェスタ 2014 参加イベント一覧……5

【百人委員会】

百人委員会とは／百人委員会委員一覧……6

【オフィシャルイベント】

東京ゲームショウ 2014……8
日本ゲーム大賞 2014……9
KYOTO CMEX 2014……10
CEATEC JAPAN 2014……12
Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2015 S/S……13
第 6 回 ロボット大賞……14
第 41 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール……15
第 11 回東京国際ミュージックマーケット……16
TIFFCOM 2014 for Film & TV in Asia……17
東京国際アニメ祭 2014 秋……18
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2014……19
デジタルコンテンツ EXPO 2014……20
第 11 回文化庁映画週間……21
第 27 回東京国際映画祭……22
マンガフェスティバル in インドネシア……23
Inter BEE 2014……24
第 31 回 ATP 賞テレビグランプリ……25
AnimeJapan 2015……26

【パートナーイベント】

池袋シネマチ祭……28
SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2014……28
第 15 回広島国際アニメーションフェスティバル……29
京都国際マンガ・アニメフェア 2014……29
吉祥寺アニメワンダーランド 2014……29
山形国際ドキュメンタリー映画祭……30
第 2 回 アニ玉祭（アニメ・マンガまつり in 埼玉）……30
第 5 回にいがたアニメ・マンガフェスティバル……30
Tokyo Docs 2014……31
MPTE AWARDS 2014……31
J-Music LAB 2014 in hai-DAY……32
きものサローネ in 日本橋 2014……32
第 5 回 映文連 国際短編映画祭
「映文連アワード 2014」……32
第 6 回 京都ヒストリカ国際映画祭……33
第 36 回 PFF ぴあフィルムフェスティバル……33

【コ・フェスタアンバサダー】

コ・フェスタアンバサダー……34

【一体感の創出】

公式行事等への実行委員会正副委員長の出席……37

【プロモーション】

広報制作物／百人委員会の活性化……38

・氏名は敬称略を基本とします。
・株式会社、社団法人、財団法人、独立行政法人は、それぞれ㈱、㈳、㈶、㈱と略すことを基本とします。
・一般社団法人、公益社団法人、一般財団法人、公益財団法人は、それぞれ（一社）、（公社）、（一財）、（公財）と略すことを基本とします。

はじめに

コ・フェスタ2014 実施報告書発行にあたり

コ・フェスタ2014実行委員長　大谷　信義

皆様方におかれましては、「コ・フェスタ2014」の開催に際しまして、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

コ・フェスタは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトです。2007年から開催されて８年目を迎えた今年は、18のオフィシャルイベントをはじめとする多種多様なイベントへ、国内外より広く多くの方にご来場いただくともに、業界の垣根を越えた交流やビジネス展開を促進いたしました。

中でも、「コ・ フェスタアンバサダー」は、コ・ フェスタの取り組みをより多くの海外ユーザーに認知してもらうべく、日本のコンテンツファンである世界30カ国以上の留学生約140名により昨年組織されました。本年度の「コ・フェスタアンバサダー」は、より積極的に各イベントを取材し、日本コンテンツに直に触れる活動を多くいたしました。また、日本コンテンツ関係者やバイヤーと意見交換を行い、各イベントの広報活動やコンテンツ産業への提言を行うなど、海外消費者の目線で情報の精査や発信力の向上に貢献いたしました。

さらに、コ・ フェスタの情報発信を効果的に行うため、SNSを駆使して良質なコンテンツを海外にプロモーションいたしました。このように、本年度のコ・フェスタは、外国人アンバサダーの声を活用した「マーケテイング」、SNSを通じた「プロモーション」、幅広い国々との「ビジネスマッチング」といった一連の海外展開プロセスを総合的に支援いたしました。

ここに、関係各位のご協力のもと、コ・フェスタ2014の実施報告書がまとまりましたので、ご一読いただければ幸いです。今年の成果を踏まえ、この８年間のコ・フェスタで培ったコンテンツ業界としての一体感と海外への発信力を一段と高めるべく、次の諸準備を進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、コ・フェスタ2014にご参加いただきましたオフィシャルイベント、パートナーイベントの主催者・後援者、および関係者の皆様方の多大なるご協力に重ねて御礼申し上げます。

大谷 信義

運営体制　コ・フェスタとは?／運営組織／実行委員会

■コ・フェスタとは?

コ・フェスタとは、日本が誇るゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントを効果的に海外に発信するための、海外発信力強化支援プロジェクトです。

名　称：コ・フェスタ 2014
主　催：コ・フェスタ実行委員会
開催場所：日本各地、および海外
2014年総来場者数：約133万人

●コ・フェスタ開催の目的
クールジャパン戦略の一環として、日本が誇るコンテンツの魅力を効果的に海外に発信することによって、日本ブームを創出することを目的としている。

●取組内容
・コ・ フェスタオフィシャルイベントをはじめパートナーイベントを拡大することで、国内外のコンテンツ関連イベントに関する情報を集約し、コンテンツポータルサイト「JAPACON」や外国人留学生をはじめとした約 150名の「コ・ フェスタアンバサダー」等を動員して、各イベントの海外発信力強化を支援する。
・映画・ アニメ・ 音楽を統合したアジア最大級の国際見本市「Japan Content Showcase」など各イベントが一体となった取り組みを行い、日本コンテンツを海外へ集中的に売り込む。
・非コンテンツ産業との連携により、日本の価値を最大化して海外へ発信する。

■運営組織

●実行委員会　コンテンツ系各業界および関係省庁、関係団体からの委員で構成する。
●実行本部　実行委員会の方針のもとに、事業の運営、統括を実施する。

■コ・フェスタ実行委員会

コ・ フェスタの最高意思決定機関として、上申された事項を審議、決議するとともに、コ・ フェスタの各イベントの実施および広報活動ならびに各業界イベントとの協力体制の強化を行う。

●委員会の開催
日時：2014年7月31日（木）
場所：経団連会館2F ホール南
【審議事項】
第1号議案　コ・フェスタ実行委員長、副委員長選任の件
第2号議案　コ・フェスタ 2014活動方針の件
第3号議案　「コ・フェスタ実行委員会規約」一部変更の件
第4号議案　コ・フェスタ 2015における新たなイベント選定方針の件
第5号議案　コ・フェスタ 2014オフィシャルイベント承認の件
（各オフィシャルイベントより2014年度の概要説明）

運営体制　コ・フェスタ実行委員会　委員一覧

2014年7月31日現在（敬称略）

【委員長】

大谷　信義	一般社団法人 映画産業団体連合会 会長 （松竹株式会社 代表取締役会長）

【副委員長】

依田　巽	一般社団法人 日本経済団体連合会 産業問題委員会 エンターテインメント・コンテンツ産業部会 部会長 （ギャガ株式会社 代表取締役会長兼社長CEO）
迫本　淳一	公益財団法人 ユニジャパン 理事長 （松竹株式会社 代表取締役社長）
重延　浩	株式会社テレビマンユニオン 会長 ゼネラルディレクター 取締役
松谷　孝征	特定非営利活動法人 映像産業振興機構 理事長 （株式会社手塚プロダクション 代表取締役社長）

【委員】

市原　健介	一般財団法人 デジタルコンテンツ協会 専務理事
井上伸一郎	株式会社KADOKAWA 代表取締役専務
井上　弘	一般社団法人 日本民間放送連盟 会長 （株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役会長）
鵜之澤　伸	一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 会長 （株式会社バンダイナムコゲームス代表取締役副社長）
岡田　裕介	一般社団法人 日本映画製作者連盟 会長 （東映株式会社 代表取締役グループ会長）
加藤　隆司	日本政府観光局（JNTO）理事
斉藤　正明	一般社団法人 日本レコード協会 会長 （ビクターエンタテインメント株式会社 代表取締役社長）
椎名　保	東京国際映画祭 ディレクター・ジェネラル （株式会社KADOKAWA 取締役相談役）
野間　省伸	株式会社講談社 代表取締役社長
三宅　正彦	一般社団法人 日本ファッション・ウィーク推進機構 理事長 （株式会社TSIホールディングス 代表取締役会長兼社長）
宮本　聡	独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）副理事長
籾井　勝人	日本放送協会 会長
矢内　廣	ぴあ株式会社 代表取締役社長
和崎　信哉	一般社団法人 衛星放送協会 会長 （株式会社WOWOW 代表取締役社長）

（以上、50音順）

増田　義一	内閣官房 知的財産戦略推進事務局 次長
渡辺　克也	総務省 官房審議官（情報流通行政局担当）
新美　潤	外務省 大臣官房 国際文化交流審議官
佐伯　浩治	文化庁 文化部長
大橋　秀行	経済産業省 大臣官房審議官（IT戦略担当）
吉田　雅彦	国土交通省観光庁 観光地域振興部長
杉崎智恵子	東京都産業労働局観光部長

【監事】

倉内　均	一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 理事長 （株式会社アマゾンラテルナ代表取締役会長）
村瀬　治男	一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 会長 （キヤノンマーケティングジャパン 代表取締役会長）

開催概要　コ・フェスタ 2014 参加イベント一覧

オフィシャルイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	東京ゲームショウ 2014	9月18日(木)～9月21日(日)	幕張メッセ
2	日本ゲーム大賞 2014	9月18日(木)～9月21日(日)	幕張メッセ
3	KYOTO CMEX 2014	9月19日(金)～2015年3月29日(日)	みやこめっせ、京都国際マンガミュージアム 他
4	CEATEC JAPAN 2014	10月7日(火)～10月11日(土)	幕張メッセ
5	Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2015 S/S	10月13日(月)～10月19日(日)	渋谷ヒカリエ、メルセデス・ミー
6	第6回 ロボット大賞	10月15日(水)～10月17日(金)	東京ビッグサイト
7	第41回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール	10月15日(水)～10月21日(火)	NHK放送センター
8	第11回東京国際ミュージックマーケット	10月21日(火)～10月23日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA Zepp DiverCity TOKYO
9	TIFFCOM 2014 for Film & TV in Asia	10月21日(火)～10月23日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
10	東京国際アニメ祭2014秋	10月21日(火)～10月23日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
11	国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2014	10月23日(木)	東京プリンスホテル
12	デジタルコンテンツ EXPO 2014	10月23日(木)～10月26日(日)	日本科学未来館
13	第11回文化庁映画週間	10月23日(木)～10月27日(月)	グランドハイアット東京、シネマート六本木
14	第27回東京国際映画祭	10月23日(木)～10月31日(金)	六本木ヒルズ、TOHOシネマズ日本橋ほか、 都内の各劇場及び施設・ホールを使用
15	マンガフェスティバル in インドネシア	10月31日(金)～11月9日(日)	ジャカルタ
16	Inter BEE 2014	11月19日(水)～11月21日(金)	幕張メッセ
17	第31回ATP賞テレビグランプリ	11月27日(木)	六本木ハリウッドホール
18	AnimeJapan 2015	2015年3月20日(金)～3月22日(日)	東京ビッグサイト

パートナーイベント

	イベント名	開催期間	開催場所
1	池袋シネマチ祭	6月6日(金)～6月8日(日)	シネマサンシャインほか映画館5館／アニメイトホール／ 中池袋公園
2	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014	7月19日(土)～7月27日(日)	SKIPシティ 映像ホール／多目的ホール ほか
3	第15回広島国際アニメーションフェスティバル	8月21日(木)～8月25日(月)	アステールプラザ
4	京都国際マンガ・アニメフェア2014	9月20日(土)～9月21日(日)	みやこめっせ(京都市勧業館) ほか
5	吉祥寺アニメワンダーランド2014	10月4日(土)～10月13日(月)	吉祥寺駅周辺(井の頭公園ステージ・武蔵野商工会館・ 武蔵野公会堂ほか)
6	山形国際ドキュメンタリー映画祭	10月8日(水)～10月15日(水)	山形市中央公民館6F ほか市内各所
7	第2回 アニ玉祭(アニメ・マンガまつりin埼玉)	10月11日(土)～10月12日(日)	ソニックシティ (大宮)
8	第5回にいがたアニメ・マンガフェスティバル	10月18日(土)～10月19日(日)	万代エリア、古町エリア、白山エリア、西大畑エリアなど
9	Tokyo Docs 2014	10月27日(月)～11月1日(土)	千代田放送会館
10	MPTE AWARDS 2014	10月28日(火)	六本木アカデミーヒルズ49
11	J-Music LAB 2014 in hai-DAY	11月8日(土)～11月9日(日)	インドネシア・ジャカルタ市 スナヤン東駐車場
12	きものサローネin日本橋2014	11月8日(土)～11月13日(木)	三井ホール／野村コンファレンスプラザ日本橋 YUITO5F・6F
13	第5回 映文連 国際短編映画祭 「映文連アワード2014」	11月17日(月)～11月19日(水)	表彰式：国立新美術館講堂 上映会：シネマート六本木
14	第6回 京都ヒストリカ国際映画祭	12月6日(土)～12月14日(日)	京都文化博物館／京都みなみ会館
15	第36回PFFぴあフィルムフェスティバル	12月13日(土)～12月23日(火) 2015年1月3日(土)～1月9日(金)	東京国立近代美術館フィルムセンター／京都シネマ／ 愛知芸術文化センター アートスペースAほか各地

百人委員会　百人委員会とは／百人委員会委員一覧

■百人委員会とは

正式名称：コ・フェスタ百人委員会（通称：百人委員会）
設立主旨：コ・フェスタを産業界から支援することを目的とする。

■委員一覧

2014年11月1日現在　百人委員会就任企業107社

伊藤源嗣　㈱IHI　相談役
植野伸一　㈱アサツー ディ・ケイ　代表取締役社長
木村伊量　朝日新聞社　代表取締役社長
荻田　伍　アサヒグループホールディングス㈱　相談役
小林栄三　伊藤忠商事㈱　取締役会長
戸井和久　㈱イトーヨーカ堂　代表取締役社長 兼 COO
長瀬文男　㈱イマジカ・ロボットホールディングス　代表取締役会長 グループCEO
浜島健爾　ウシオ電機㈱　代表取締役社長
今井　環　㈱NHKエンタープライズ　代表取締役社長
篠田和久　王子ホールディングス㈱　代表取締役会長
川崎秀一　沖電気工業㈱　代表取締役社長
井上伸一郎　㈱KADOKAWA　代表取締役専務
辻本憲三　㈱カプコン　代表取締役会長
福井澄郎　関西テレビ放送㈱　代表取締役社長
木下直哉　木下グループ　代表取締役 兼 グループC.E.O
依田　巽　ギャガ㈱　代表取締役会長兼社長CEO
御手洗冨士夫　キヤノン㈱　代表取締役会長兼社長 CEO
村瀬治男　キヤノンマーケティングジャパン㈱　代表取締役会長
三宅占二　キリンホールディングス㈱　取締役社長
重村博文　キングレコード㈱　代表取締役社長
襟川陽一　㈱コーエーテクモゲームス　代表取締役社長
藤原　浩　コダック合同会社　代表取締役社長
早川英樹　㈱コナミデジタルエンタテインメント　代表取締役副社長
坂根正弘　㈱小松製作所　相談役
柄澤哲夫　㈱ゴンゾ　執行役員社長 兼 CEO
熊坂隆光　㈱産業経済新聞社　代表取締役社長
木村　康　JXホールディングス㈱　代表取締役会長
田中　順　NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社
ローカルアクイジション＆プロダクション本部長
迫本淳一　松竹㈱　代表取締役社長
市川秀夫　昭和電工㈱　代表取締役社長
高田真治　スカパーJSAT㈱　代表取締役 執行役員社長
松田洋祐　㈱スクウェア・エニックス・ホールディングス　代表取締役社長
石飛　修　住友化学㈱　代表取締役会長・CEO
岡　素之　住友商事㈱　相談役
花岡清二　セイコーエプソン㈱　相談役
平井一夫　ソニー㈱　取締役　代表執行役社長 兼 CEO
鉄屋浩三　ソニーPCL㈱　代表取締役 執行役員 社長
北川直樹　㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役 コーポレイト・エグゼクティブCEO
大塚徹哉　㈱第一通信社　代表取締役社長
山内隆司　大成建設㈱　代表取締役社長
北島義俊　大日本印刷㈱　代表取締役社長
鈴木茂晴　㈱大和証券グループ本社　取締役会長
富山幹太郎　㈱タカラトミー　代表取締役社長
山本孝義　中京テレビ放送㈱　代表取締役社長
林　尚樹　㈱CBCテレビ（旧：中部日本放送㈱）　代表取締役社長
石橋誠一　㈱テイチクエンタテインメント　代表取締役社長
吉田博昭　㈱ティー・ワイ・オー　代表取締役
杉山知之　デジタルハリウッド㈱　デジタルハリウッド大学学長
高橋美夫　テレビ愛知㈱　代表取締役社長
早河　洋　㈱テレビ朝日　代表取締役会長兼CEO
青山高博　テレビ大阪㈱　代表取締役社長
髙橋雄一　㈱テレビ東京　代表取締役社長
俣木盾夫　㈱電通　相談役
岡田裕介　東映㈱　代表取締役グループ会長
森下孝三　東映アニメーション㈱　取締役会長
内田　優　東海テレビ放送㈱　代表取締役社長
岡本　毅　東京ガス㈱　取締役会長
難波一弘　㈱TBSテレビ　常務取締役
西室泰三　㈱東芝　相談役
島谷能成　東宝㈱　代表取締役社長
林田　洋　㈱東北新社　取締役会長
藤田弘道　凸版印刷㈱　相談役
田仲幹弘　㈱トーハン　取締役 海外事業部門担当
張　富士夫　トヨタ自動車㈱　名誉会長
横井正彦　名古屋テレビ放送㈱　代表取締役社長
佐藤直樹　日活㈱　代表取締役社長
重久吉弘　日揮㈱　日揮グループ代表　名誉会長
長田公平　㈱日経BP　代表取締役社長
丹羽信一　㈱日本経済広告社　代表取締役社長
平田保雄　㈱日本経済新聞社　取締役会長
大西　賢　日本航空㈱　代表取締役会長
原　康晴　日本コロムビア㈱　代表取締役社長 兼 最高執行責任者
岡村　正　日本商工会議所　名誉会頭
大久保好男　日本テレビ放送網㈱　代表取締役 社長執行役員
矢野　薫　日本電気㈱　取締役会長
氏家純一　野村ホールディングス㈱　常任顧問
成田純治　㈱博報堂　代表取締役会長
大森壽郎　㈱博報堂ＤＹメディアパートナーズ　代表取締役社長
柏木　登　㈱バップ　代表取締役 社長執行役員
中村邦夫　パナソニック㈱　相談役
石川祝男　㈱バンダイナムコホールディングス　代表取締役社長
矢内　廣　ぴあ㈱　代表取締役社長
深澤祐二　東日本旅客鉄道㈱　代表取締役副社長
川村　隆　㈱日立製作所　相談役
林　瑞峰　㈱ヒューマックスシネマ　代表取締役社長
後藤由多加　㈱フォーライフミュージックエンタテイメント　代表取締役社長
秋草直之　富士通㈱　相談役
亀山千広　㈱フジテレビジョン　代表取締役社長
古森重隆　富士フイルム㈱　代表取締役会長・CEO
大島康広　㈱プラザクリエイト　代表取締役社長
桐畑敏春　㈱ポニーキャニオン　代表取締役社長
堀　義貴　㈱ホリプロ　代表取締役社長
朝比奈　豊　㈱毎日新聞社　代表取締役社長
河内一友　㈱毎日放送　代表取締役社長
齋藤　宏　みずほフィナンシャルグループ　名誉顧問
岩沙弘道　三井不動産㈱　代表取締役会長
野間口　有　三菱電機㈱　相談役
畔柳信雄　㈱三菱東京UFJ銀行　特別顧問
辻　慎吾　森ビル㈱　代表取締役社長
高原豪久　ユニ・チャーム㈱　代表取締役社長
藤倉　尚　ユニバーサルミュージック合同会社　社長兼最高経営責任者（CEO）
吉野伊佐男　吉本興業㈱　代表取締役会長
白石興二郎　㈱読売新聞グループ本社　代表取締役社長
望月規夫　讀賣テレビ放送㈱　代表取締役社長
白石弘幸　琉球放送㈱　代表取締役社長
内海州史　㈱ワーナーミュージック・ジャパン　代表取締役社長 兼 COO
和崎信哉　㈱WOWOW　代表取締役社長

CoFesta2014 Official Events

コ・フェスタ オフィシャルイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベント。本年度は 18 のイベントが認定された。

東京ゲームショウ 2014
日本ゲーム大賞 2014
KYOTO CMEX 2014
CEATEC JAPAN 2014
Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO 2015 S/S
第6回 ロボット大賞
第41回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
第11回 東京国際ミュージックマーケット
TIFFCOM 2014
東京国際アニメ祭2014 秋
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2014
デジタルコンテンツ EXPO 2014
第11回 文化庁映画週間
第27回 東京国際映画祭
マンガフェスティバル in インドネシア
Inter BEE 2014
第31回 ATP賞
AnimeJapan 2015

オフィシャルイベント　TOKYO GAME SHOW 2014

名　称：東京ゲームショウ2014
会　場：幕張メッセ
主　催：（一社）コンピュータエンターテインメント協会
共　催：日経BP社
後　援：
対　象：コンピュータエンターテインメント業界関係者及び一般
来場者数：251,832人

■内容
「東京ゲームショウ2014」は、「世界最上級のゲームビジネスイベント」を目指すことと「一般来場者の満足度向上」を中期的な目標に掲げ「GAMEは変わる、遊びを変える。」をテーマに開催した。
4日間を通じた総来場者数は、歴代2位となる25万1832人を記録した。また出展社数は、421社で、過去最多を更新。このうち約半分の202社が海外からの出展社となり、主にアジア圏からの出展社が増えたことが今年の特徴である。

出展タイトルもiOS・Android向けゲームの出展が昨年の約2倍となったほか、今年国内で発売されたプレステーション4.Xbox One向けタイトルの出展も増えた。更に新たなプラットフォームとして注目されるSteam向けタイトルなど様々なジャンルの新しいタイトルが発表された。

中期ビジョン「世界最上級のビジネスイベント」を実現するため、国際的な商談の促進に取り組んだ結果、出展のない国々も事前のアポイントシステムを活用し、海外から来場したビジネス関係者が商談を行っていた。また、ビジネスマッチングコーディネーターによる商談のサポートや通訳、バイリンガルスタッフを多く配置し、海外来場者に対して必要なインフォメーションを提供できる態勢を整えた。

また、来場者の満足度向上のため、混雑を緩和する施策を実施。出展ゾーンのレイアウトを大きく変更し、40小間以上の大規模出展社を会場の南北に配置し、中小規模の出展社を中央の列にまとめることで、大規模出展社間の通路の混雑解消を行った。

さらに海外の媒体とのメディアパートナー制や公式動画チャンネルを使った情報発信の強化、連動コンサートや大抽選会の実施、会場内を解りやすく快適に過ごしてもらうための様々な施策を実施した。

●規模
出展社数：421（国内219社、海外202社）
展示小間数：1,715小間
参加国：32の国、地域
出展タイトル：1,363タイトル（事前登録数）

●出展コーナー
一般展示／物販／ゲームスクール／スマートフォン・アクセサリー・コレクション／ゲームスクールー／スマートフォンゲーム＆ソーシャルゲーム／ゲームデバイス／ファミリー／ロマンスゲーム／ビジネスソリューション／クラウド・データセンターパビリオン／アジアニュースターズ／ビジネスミーティング／インディーゲーム

※東京ゲームショウ2014は、経済産業省によるコンテンツ海外展開等促進基金（J-LOP）からの助成を受けて開催致しました。

オフィシャルイベント　Japan Game Awards：2014 日本ゲーム大賞

名　称：日本ゲーム大賞2014
会　期：2014年9月18日（木）～9月21日（日）※発表授賞式
会　場：東京ゲームショウ2014　メインステージ
主　催：（一社）コンピュータエンターテインメント協会
後　援：経済産業省
対　象：コンピュータエンターテインメント協会関係者及び一般
来場者数：2,500人

■内容
日本ゲーム大賞2014の各部門の発表授賞式は、「東京ゲームショウ2014」の会期中、日本を代表するトップクリエイターが一堂に介し、業界関係者、一般来場者など多くの出席者のもと盛大に執り行われた。

●**「経済産業大臣賞」**（発表授賞式：9月18日（木）16:00～18:00）
日本の家庭用ゲーム産業の発展に寄与された人物ならびに制作チーム等の団体に贈られる賞。本年は、㈱レベルファイブの日野晃博氏に授与された。
＜授賞理由＞
数々のヒット作品を手掛けられた他、「妖怪ウォッチ」においては、TVアニメ、漫画、玩具などへのクロスメディア展開により、数多くの派生コンテンツを提供。子供から大人までを巻き込んだ社会的な一大ムーブメントを起こし、ゲームのコンテンツとしての優位性とその可能性を示し、ゲーム産業の発展に貢献した点を評価しての受賞。

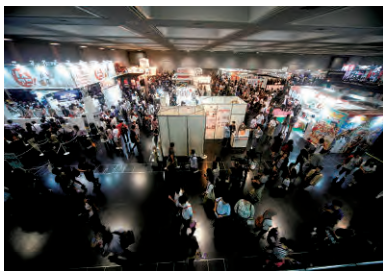
●**年間作品部門**（発表授賞式：9月18日（木）16:20～18:00）
対象作品：2013年4月1日から2014年3月31日までの間、日本国内でリリースされた作品。年間を代表するにふさわしい最も優れた作品に贈られる「大賞」には、㈱カプコンの「モンスターハンター4」と㈱レベルファイブの「妖怪ウォッチ」の2作品が選ばれた。㈱ポケモンの「ポケットモンスターX・Y」は、ベストセールス賞、優秀賞、グローバル賞を受賞。審査員の推薦により贈られる「特別賞」は、㈱ゲームフリークの「ソリティ馬」となった。
また、第5回目となる「ゲームデザイナーズ大賞」には、Starbreeze Studios（日本での販売元 ㈱スパイク・ チュンソフト）の「ブラザーズ 2人の息子の物語」が選出された。

【ゲームデザイナーズ大賞概要】
クリエイターが作り手の視点から高い独創性を持ち且つ、ゲームの歴史にその名を刻むべき革新的な作品を選出、称える賞として設けられた賞。桜井政博氏を審査員長に同賞の趣旨に賛同頂いた日本を代表するクリエイターの審査によって受賞作品を決定。

●**「アマチュア部門」**（発表授賞式：9月20日（土）10:30～11:30）
対象作品：アマチュアの方が制作したオリジナルの未製品化作品。
今年から、新たにテーマを設け、作品を募集した。今年のテーマは「動き」
応募総数315作品の中から、業界詩編集者、クリエイターによる審査を経て、佳作6作品、優秀賞5作品、合計11作品が受賞作品として選出され、優秀賞5作品の中から、HAL大阪の「FRAMING」が「大賞」を受賞した。HAL大阪は、昨年に続き連覇達成となる。また、本年より新設した「個人賞」には、「数字と流れ星」（岡田忠憲氏）が選ばれた。

●**フューチャー部門**（発表授賞式：9月21日（日）12:00～13:30）
対象作品：「東京ゲームショウ2014」に出展、発表された未発売作品。
「東京ゲームショウ2014」会期中に来場者投票を実施。その後、日本ゲーム大賞選考委員による審査の結果、今後が期待される作品として、12作品が選出された。

オフィシャルイベント KYOTO CMEX


京都国際マンガ・アニメフェア 2014

マンガ出張編集部

京都国際マンガミュージアム「京都『艦これ展』」

コンテンツクロスメディアセミナー

名　称：KYOTO Cross Media Experience 2014（KYOTO CMEX2014）
会　期：2014年9月19日（金）～2015年3月29日（日）
会　場：みやこめっせ（京都市勧業館）／京都国際マンガミュージアム／京都商工会議所／東映京都撮影所／松竹撮影所／東映太秦映画村／京都文化博物館など
主　催：KYOTO Cross Media Experience実行委員会
対　象：国内外のコンテンツ産業関係者、若手クリエイターやクリエイターを目指す大学生、コンテンツに関心のある方など
来場者数：64,215人

■内容

●レセプション
日時：9月19日（金）
会場：桜鶴苑
概要：KYOTO CMEXを国内外に発信するとともに、コンテンツ産業に携わる国内外のトップランナーやクリエイター等の分野横断的な人材交流を目的に開催した。

●「京都国際マンガ・アニメフェア（略称：京まふ）2014」
日時：9月20日（土）～21日（日）
会場：京都市勧業館（みやこめっせ）、京都国際マンガミュージアム
概要：ビジネス取引の活性化や人材育成、国内外観光客の掘り起こし等を目的に、マンガ・アニメの総合見本市を開催し、第2会場を含めて40,576人が来場した。また、京都市内企業を中心に、マンガ・アニメ作品とのコラボ商品を140種類以上開発し、フェア当日にPR及び販売を行った。

●京都版トキワ荘事業「マンガ出張編集部」
日時：9月21日（日）
会場：京都市勧業館（みやこめっせ）京都国際マンガ・アニメフェア会場内
概要：首都圏の出版社のマンガ編集部を京都へ招聘し、マンガ家志望者が原稿を持ち込んで添削やアドバイスを受ける場を設けた。17出版社48編集部が出展し、202人がマンガ原稿の持ち込みを行った。

●京都国際マンガミュージアム「京都『艦これ展』」
日時：9月20日（土）～11月9日（日）
場所：京都国際マンガミュージアム
概要：ブラウザゲーム「艦隊これくしょん ー艦これー」のイラストなどを集めた「京都『艦これ展』」を開催。40点以上のイラストや10体を超えるアニメ版「艦娘」の大判パネルを展示した。

●コンテンツクロスメディアセミナー
日時：9月30日（火）、10月21日（火）、10月29日（水）
場所：ザ・リッツ・カールトン京都、ハイアットリージェンシー京都、京都商工会議所
概要：コンテンツ業界並びに異業種の人材交流のため、マンガ・映画などコンテンツ業界で活躍するトップリーダーを招き、セミナーを実施。セミナー終了後には、講師を招いての交流会を開催した。

オフィシャルイベント

KYOTO CMEX

●GO-TAN2014アニメ祭 in 宮津天橋立
日時：10月11日（土）
場所：天橋立周辺
概要：コスプレやアニソンなどのイベントを開催し、新産業・新しい観光（着地型観光・もてなしの観光）の創出を図った。

●京都太秦シネマフェスティバル
日時：11月24日（祝・月）、29日（土）～30日（日）
場所：太秦地域
概要：撮影所、商店街など「映画のまち 京都太秦」全体で、プロ指導による子ども映画制作ワークショップ、歴史創作コンテンツファンが集い交流するイベント等を開催し、太秦を基盤とした「コンテンツコミュニティ」の形成を図った。

●HISTORICA（ヒストリカ）
日時：12月6日（土）～14日（日）
会場：京都文化博物館、京都みなみ会館
概要：映画・映像制作の発祥の地である京都において、歴史をテーマにした国際映画祭を開催し、国内外の歴史映画を上映するとともに、映画製作関係者等を招き、クロスメディア展開の手法や国際事業展開の可能性を探った。

●京都映画企画市
日時：12月12日（金）
会場：京都文化博物館別館
概要：若手映画・映像製作者を対象とした企画コンテストや交流・相談会の開催などを通じて、時代劇の拠点としての京都の優位性を活かし、映画・映像や若手クリエイターが世に出ていく仕組みを構築することを目的とし開催した。

●京都映画若手才能育成ラボ
日時：12月15日（月）～18日（木）
会場：松竹撮影所、東映京都撮影所、東映太秦映画村、京都文化博物館
概要：国内外の若手映画制作者を対象に、短編時代劇映画制作の機会を提供する本格的な時代劇制作ワークショップや、国内の若手俳優を対象に、時代劇の所作習得を通じた演技指導ワークショップを実施し、人材の育成を図った。

●Digital Interactive Entertainment Conference（DIEC）
日時：3月29日（日）
会場：京都リサーチパーク
概要：近年注目を集めている「INGRESS」、「Oculus Rift」、「ゲーム実況」。それぞれをテーマにした講演会やパネルディスカッション、ゲーム実況イベント等、次世代のデジタルエンターテイメントを体感できるイベントを実施した。

GO-TAN2014 アニメ祭 in 宮津天橋立

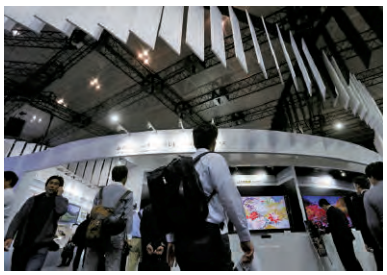
京都太秦シネマフェスティバル

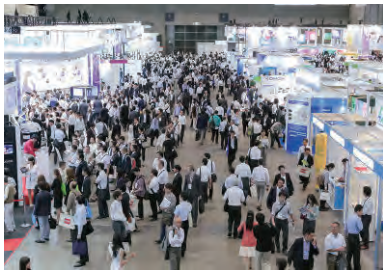
HISTORICA

京都映画企画市

京都映画若手才能育成ラボ

オフィシャルイベント　CEATEC JAPAN





名　称：CEATEC JAPAN 2014（シーテック ジャパン 2014）
会　期：2014年10月7日（火）～11日（土）　午前10時～午後5時
会　場：幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）
主　催：CEATEC JAPAN 実施協議会
（一社）情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）
（一社）電子情報技術産業協会（JEITA）
（一社）コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）
共　催：なし
後　援：○総務省／外務省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省（建制順）
○㈱日本貿易振興機構（ジェトロ）／
㈱新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）／
㈱産業総合研究所／㈱情報通信研究機構（NICT）／
㈱情報処理推進機構（IPA）／㈱中小企業基盤整備機構／
日本政府観光局（JNTO）
○千葉県／千葉市
○日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟
○（一社）日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／
千葉商工会議所／米国大使館商務部／駐日欧州連合代表部／
英国大使館貿易・対英投資部／カナダ大使館／
フランス大使館企業振興部－ユビフランス
対　象：IT・エレクトロニクス業界関係者、および一般ユーザ
来場者数：150,912人

■内容
CEATEC JAPAN 2014は、10月7日（火）から10月11日（土）までの5日間、千葉市・幕張メッセにおいて、経済産業省、総務省、日本放送協会など25省庁・団体の後援、51団体の協賛により開催した。
今年で15回目を迎えたCEATEC JAPANは、「NEXT－夢を生みだし、未来を描け」をテーマに、「ライフ＆ソサエティ ステージ」、「キーテクノロジ ステージ」、特別企画「NEXTイノベーションプラザ」、「コンファレンス」などに業界を代表するキーパーソンや今後の技術革新を担うエンジニアなどが集い、様々な産業やアプリケーションに向けてシームレスに展開するIT・ エレクトロニス技術の動向を見据えるとともに、多種多様なビジネス展開につながる情報交流の場として活用された。
展示では、これまでのデジタル家電を軸とした展示から、さらに、IT・エレクトロニクスの進化と幅の広さが伺える自動車やロボット、ウエアラブルに関する技術など、様々な分野での活躍が期待されるIT・ エレクトロニクスの広がりと期待感を感じられる展開が数多く見られた。
特別企画展示のNEXTイノベーションプラザでは、新しい取り組みとしてベンチャーエリアの設置などと共にオープンステージで40余りのセッションを開催した。また、技術者同士の交流を目指したテーマ別のわかりやすいブースガイドツアーも初めて展開した。CEATECコンファレンスでは、100件以上のセッションに、述べ17,500名余りの聴講者が集まった。自動運転、IoT、ウェアラブル、ヘルスケアなどのテーマセッションは定員を上回り盛況であった。
国内外のメディアからの注目も高く、多くのメディアが取り上げ、広範な情報展開が積極的に行われ、開催テーマの「NEXT－夢を生みだし、未来を描け」を象徴するかのように、未来・社会・暮らし・快適・安全・スマート・環境・健康・対話型と、これからのIT・エレクトロニクス技術の展望・未来・可能性・当該産業の将来価値を実感できる場となった。

オフィシャルイベント　Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO

名　称：メルセデス・ベンツ ファッション・ウィーク 東京 2015 S/S
会　期：2014年10月13日〜19日
会　場：渋谷ヒカリエ／Mercedes me
主　催：（一社）日本ファッション・ウィーク推進機構
共　催：
後　援：経済産業省／外務省／知的財産戦略本部 ほか
対　象：ファッションプレス、バイヤー、ブランド顧客ほか
来場者数：約2万4100人

■内容
渋谷ヒカリエを中心に開催される、「Mercedes-Benz Fashion Week TOKYO」は、国内最大のファッションの祭典です。
初日にはオープニングレセプションを開催し、スペシャルコンテンツとして、映像「The Runway Of HANAE MORI」も発表され、森英恵先生も登壇されました。コレクションでは海外から4ブランドが参加、全48ブランドが新作を発表。
六本木の「Mercedes me」をはじめ、都内の様々な開場での関連イベントも数多く開催しました。

© Japan Fashion Week Organization

© Japan Fashion Week Organization

© Japan Fashion Week Organization

© Japan Fashion Week Organization

© Japan Fashion Week Organization

© Japan Fashion Week Organization

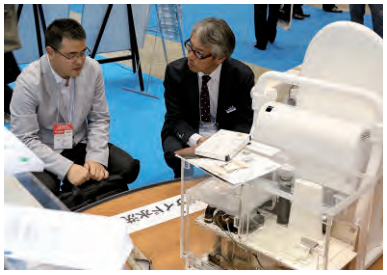
オフィシャルイベント　第6回 ロボット大賞

①受賞者記念撮影

②ロボット大賞受賞（富士機械製造）

③ステージ写真

④手術支援ロボット（デンソー）


⑤排泄支援ロボット（TOTO）

名　称：第6回ロボット大賞
会　期：2014年10月15日（水）～17日（金）
会　場：東京ビッグサイト
主　催：経済産業省／（一社）日本機械工業連合会
協　力：㈱新エネルギー・産業技術総合開発機構／㈱中小企業基盤整備機構／
（一社）日本ロボット工業会／（一社）日本ロボット学会／
（一社）日本機械学会／（一社）人工知能学会／（一社）日本人間工学会／
（公社）計測自動制御学会／（公財）テクノエイド協会／日本科学未来館
※順不同
対　象：関係者および一般
来場者数：16,626人

■内容

●**「第6回ロボット大賞」表彰式**　10月15日（水）
全86件の応募より、「第6回ロボット大賞」（経済産業大臣賞）を含めた、全10件の優れたロボット・ロボットに関わる部品、ソフトウェア等が表彰された。
「第6回ロボット大賞」には、産業用ロボット部門より、電子部品の実装を行う「モジュール型高速多機能装着機 NXT III」（富士機械製造㈱）が選ばれた。
その他、サービスロボット部門では、住宅の床下点検を行う「狭小空間点検ロボット『moogle』」（大和ハウス工業㈱）や、要介護者のための移動が可能な排泄支援ロボット「ベッドサイド水洗トイレ」（TOTO㈱）等が受賞した。審査員特別賞には、ロボット技術を応用した先端リハビリテーションを実践する兵庫県立リハビリテーション中央病院が選ばれた。
今回の応募の中には、ロボット技術が社会の中で具体的に実装されている事例が数多く見受けられた。
※写真①受賞者記念撮影
　写真②ロボット大賞受賞（富士機械製造）

●**受賞担当者によるプレゼンテーションステージ**　10月15日（水）
10件の受賞ロボットの担当者より、各ロボットの特長や開発秘話などを紹介。
約300名の参加者があった。
※写真③ステージ写真

●**受賞ロボットの合同展示**　10月15日（水）～17日（金）
10件の受賞ロボットの合同展示を行った。デンソーの「手術支援ロボットiArms」は、来場者がロボットに座り、ロボットの手術時の動きを体感したほか、TOTOの「排泄支援ロボット」は、トイレの内部を見ながら、ロボット技術がどのように使われているのかを紹介した。
会期中の来場者は前回の9,413名より、約2倍の16,626名に上り、特にサービスロボット分野に対する注目の高さが表れるイベントとなった。
※写真④手術支援ロボット（デンソー）
　写真⑤排泄支援ロボット（TOTO）

オフィシャルイベント

名　称：第41回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
会　期：2014年10月15日（水）～21日（火）
会　場：NHK放送センター
主　催：日本放送協会
対　象：国内、海外の教育コンテンツ関係者、研究者ほか
来場者数：661人

■内容
「日本賞」は教育コンテンツの質の向上と国際理解の促進を目的として1965年に創設され、今回で41回目の開催となった。今年は世界62の国と地域から320の作品と企画が寄せられ、一次審査を通過した作品を、世界9か国・地域から招かれた制作者、研究者やジャーナリストにより構成される国際審査委員団の12人が視聴し審査を行った。
会期中には、一次審査通過作品を上映し、制作者と参加者が交流するイベントや、都内の小学校視察に加え、メディアや教育の最前線で活躍する専門家が議論する制作者会議も実施し、多くの参加者で賑わった。最終日の授賞式では「グランプリ日本賞」ほか受賞作品が発表され閉幕した。

1．エントリー
320作品（コンテンツ部門277、企画部門43）が62の国と地域からエントリーされた。うち初参加の機関・団体による作品と企画は114。

2．主な受賞作品
コンテンツ部門　グランプリ日本賞
「"自然と遊ぼう！"大作戦」
グリーン・ライオンズ、イギリスドキュメンタリー財団（BRITDOC）
企画部門　最優秀賞
「ミーアキャットのぼうけん」
ナミビア放送協会

3．授賞式（10月21日　放送センター　101スタジオ）
皇太子殿下のご臨席のもと、各賞の受賞者、審査委員（9か国・地域12人）、参加者、各賞授与団体（総務省、文部科学省、外務省、経済産業省、東京都他）、大使館関係者など239人の出席者を迎えて実施した。司会は俳優の別所哲也さんと、NHKアナウンサーの首藤奈知子。

4．日程

10月15日（水）	開会式・審査
10月15日（水）～18日（土）	審査
10月17日（金）～18日（土）	一次審査通過作品上映会
10月19日（日）～20日（月）	教育コンテンツ世界制作者会議（IPCEM）、小学校訪問
10月21日（火）	受賞作品上映会　授賞式　受賞者パーティー

5．参加者
会期中のイベント　140人（海外61人、国内79人）
授賞式　239人、受賞者パーティー　282人（34か国・地域）

6．関連番組
「第41回日本賞授賞式～世界をみつめる教育コンテンツ～」
2014年11月1日（土）　午後4:00～5:00　Eテレ
「メディアがひらく、子どもたちの未来～日本賞2014から～」
2014年12月28日（日）　午後1:00～1:59　Eテレ
「まるごとみせます！ 世界の教育コンテンツ～日本賞2014から～」
2014年12月31日（水）　午後2:00～4:58　Eテレ

オフィシャルイベント

名　称：第11回東京国際ミュージックマーケット
会　期：2014年10月21日～23日
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA／Zepp DiverCity TOKYO

■内容

1．個別商談会（以下、数値は全て速報値）
日　時：10月21日（火）～23日（木）9:30～18:30（最終日のみ17:30終了）
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA
出展社：36団体（国内31、海外5）（昨年46団体　国内43、海外3）
海外招聘バイヤー：13ヶ国地域33名（昨年12ヶ国地域52名）

2．ビジネスセミナー
日　時：10月21日（火）10:00～11:45
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA「セミナールームA」
テーマ：海外展開のキーマンに聞く、日本音楽の海外進出の現状と課題
モデレーター：横澤 優氏／㈱アソジア（アジアの中華圏を中心とした海外展開）
パネラー：YAZ NOYA氏／コーディネーター（北米、南米を中心とした海外展開）
パネラー：山田 蓉子氏／コーディネーター（欧州を中心とした海外展開）
来場者：124名

3．ショーケースライブ（商談会会場）
日　時：10月21日（火）13:30～17:00
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA「セミナールームA」
出演者：7組　KAO=S／桐子／GILLE／DEPAPEPE／The Barberettes／繭子／ユンナ
来場者：延べ303名

4．ショーケースライブ（Zepp DiverCity TOKYO）
①日　時：10月21日（火）18:30～21:30
会　場：Zepp DiverCity TOKYO
出演者：8組　Chu-Z／でんぱ組.inc／Doll☆Elements／流田Project／VALSHE／fhána／THE ポッシボー／YANAKIKU

②日　時：10月22日（水）18:30～21:30
会　場：Zepp DiverCity TOKYO
出演者：8組　コムシコムサ／JOSY／TarO&JirO／NoGoD／パスピエ／HAPPY／FUTURE BOYZ／MOLICE
来場者：①②合計、約2,000名

5．JAPAN NIGHT in TIMM（連携イベント）
①JAPAN NIGHT in TIMM 記者会見
日　時：10月23日（木）12:00～12:45
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA「セミナールームA」
出演者：3組　[Alexandros]／サカナクション／VAMPS（五十音順）
来場者：77名

②JAPAN NIGHT in TIMM ライブ
日　時：10月23日（木）18:30～21:30
会　場：Zepp DiverCity TOKYO
出演者：3組　VAMPS／[Alexandros]／サカナクション
来場者：2,500名

オフィシャルイベント　TIFFCOM 2014 Marketplace for Film & TV in Asia

名　称：TIFFCOM2014 Marketplace for Film & TV in Asia
会　期： 2014年10月21日（火）～23日（木）
会　場：ホテル グランパシフィック LE DAIBA
主　催：経済産業省／（公財）ユニジャパン
共　催：第27回東京国際映画祭
後　援：（一社）映画産業団体連合会／（一社）衛星放送協会／
特定非営利活動法人 映像産業振興機構／（一社）外国映画輸入配給協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／
協同組合 日本映画製作者協会／（一社）日本映画製作者連盟／
（一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本経済団体連合会／
㈱日本貿易振興機構／（一社）日本民間放送連盟／
（一社）日本レコード協会
対　象：映画、テレビ、アニメーション、VIDEO&DVD、携帯、インターネット、コミック、デジタルメディアコンテンツ、音楽、出版など

■内容

●出展者データ

出展団体数：332　※過去最高を記録
出展参加国と地域数：27の国と地域
出展内訳：日本：186　海外：146（日本56%：海外44%）
海外パビリオン：インドネシア、カナダ、韓国（映画／TV）、カンボジア、タイ、台湾、マレーシアの計7の国と地域より8団体が出展

●バイヤー登録数：1,160名

◆関連イベント等

●セミナー

海外での映像化を希望する日本原作のプレゼンテーションを行う「ランチ・ウィズ・ブックス」や国内外のフィルム・ コミッションによるセミナーなどコンテンツに関連する12本のセミナーを開催

●JETROによる日本コンテンツ輸出支援イベント

・TIFFCOM会期中に、会場内にてビジネス・マッチング商談会を開催
・米国における日本コンテンツの現状、課題や可能性を扱ったセミナーを開催

●国際交流基金アジアセンターとの取り組み

・アジアのセラーやバイヤーの招聘、招聘者による各国のコンテンツ事情を紹介するセミナーや、JETROと協力しビジネス・マッチング商談会を開催（10/24）
・東京国際映画祭と共にアジア・ネットワーキング・レセプションを開催（10/24）

●日印アニメ・ネットワーキング・イベント

インドの主要業界関係者を招聘し、ビジネスネットワーキングイベントやセミナー、日本のアニメスタジオ見学会を開催（10/23）

●国際共同製作イベント

欧州のプロデューサー団体ACE（Ateliers du cinema europeen）とKOFIC（韓国映画振興委員会）とのパートナーシップにもとづき、「日欧コプロダクション・ラボ」と「KO-PRODUCTION in TOKYO 2014」として、ネットワーキングに特化したイベントを実施

オフィシャルイベント

Tokyo International Anime Festival

名　称：東京国際アニメ祭2014秋（TIAF）
会　期：平成26年10月21日（火）～23日（木）
会　場：ホテルグランパシフィックLE DAIBA
主　催：経済産業省／（一社）日本動画協会
後　援：（一社）映画産業団体連合会／（一社）衛星放送協会／
特定非営利活動法人 映像産業振興機構／（一社）外国映画輸入配給協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／
協同組合 日本映画製作者協会／（一社）日本映画製作者連盟／
（一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本経済団体連合会／
㈱日本貿易振興機構／（一社）日本民間放送連盟／
（一社）日本レコード協会
対　象：国内外のバイヤー、アニメ・映像・音楽ビジネス関係者
来場者数：18,318人

■内容
各社話題のTVシリーズや最新劇場公開等のアニメ作品を国内外に広く発信し、活発な商談が行われた。また当協会ブースでは、3月開催の「AnimeJapan2015」や「東京アニメアワードフェスティバル2015」の開催案内や今後のPRを行った。

【プロパティブース】
カルチャーやキャラクターに関連する複数のコンテンツを組み合わせることで、コンテンツ消費の継続性や他のコンテンツへの消費拡大に発展するための仕組みをモデル化したブースを設置。来場者やバイヤーに向け、各分野や企業の垣根を越えた、総合的な展開をアピールした。

◆機動戦士ガンダム35周年プロジェクト
「機動戦士ガンダムシリーズ」はそのコンテンツのみならず、映像・音楽・出版・その他（グッズ・玩具・飲食・自動車等）関連商品へと、国内外における様々な分野へと展開してきた。
本プロパティブースでは、それらの展開事例や、TVシリーズ放映開始から、今年で35周年を記念する「機動戦士ガンダム35周年プロジェクト」の紹介及び新規映像作品等の紹介を行った。

また、『機動戦士ガンダム』の生誕40周年を迎える2019年に、18mの実物大ガンダムを動かすことを目指す一大プロジェクト「ガンダムGLOBAL CHALLENGE」概要説明も展示した。

【セミナー】
プロパティブースと連動した内容でのセミナーを実施。多くの質問も受け付け、セミナー終了後には参加者と登壇者との名刺交換が行われた。

◆「ガンダムGLOBAL CHALLENGEプロジェクト」と「日本国内と海外のガンダムのビジネス展開」について
・10月21日（火）10:00～11:30（参加者：69名）
・宮河 恭夫 氏　（株）サンライズ代表取締役社長
（一社）ガンダムGLOBAL CHALLENGEG代表理事
・「ガンダムGLOBAL CHALLENGEプロジェクト」
プロジェクト概要、ロードマップ、メディア展開等について
・「機動戦士ガンダム」を取り巻くビジネス展開、マーケット、コラボレーション事例紹介、海外展開等について

オフィシャルイベント

INTERNATIONAL DRAMA FESTIVAL in TOKYO

名　称：国際ドラマフェスティバルin TOKYO 2014
会　期：2014年10月22日（水）・23日（木）
会　場：千代田放送会館（シンポジウム・海外作品上映会）
　　東京プリンスホテル（東京ドラマアウォード2014授賞式）
主　催：国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会
　　（構成団体）
　　（一社）日本民間放送連盟／㈱TBSテレビ／日本テレビ放送網㈱／
　　㈱テレビ朝日／㈱フジテレビジョン／㈱テレビ東京／㈱WOWOW／
　　日本放送協会／スカパーJSAT㈱／（一社）日本映画製作者連盟／松竹㈱／
　　東宝㈱／東映㈱／㈱KADOKAWA／（一社）日本音楽事業者協会／
　　（公社）芸団協・実演家著作隣接権センター／
　　（一社）全日本テレビ番組製作社連盟／NPO法人映像産業振興機構／
　　（一社）日本映画テレビプロデューサー協会
共　催：総務省／経済産業省
協　賛：㈱電通／㈱博報堂ＤＹメディアパートナーズ
連携企画：東京国際映画祭／TIFFCOM
対　象：業界関係者／バイヤー
来場者数：800人

■内容

●「東京ドラマアウォード2014」授賞式（※日本、インドネシア、ミャンマー等で放送）
・司　会：石坂浩二、青山 愛（テレビ朝日アナウンサー）
・ゲスト：堺 雅人、満島ひかり、吉田鋼太郎、石原さとみ、北大路欣也、
　　泉谷しげる、志賀廣太郎、中井貴一　　など

「東京ドラマアウォード2014」受賞作品

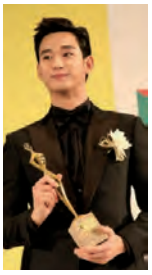
作品賞＜連続ドラマ部門＞
グランプリ　『半沢直樹』　TBSテレビ
優秀賞　『ごちそうさん』　NHK
優秀賞　『Woman』　日本テレビ放送網
優秀賞　『BORDER』　テレビ朝日
優秀賞　『MOZU Season1～百舌の叫ぶ夜～、Season2～幻の翼～』TBSテレビ・WOWOW
優秀賞　『ファースト・クラス』　フジテレビジョン

作品賞＜単発ドラマ部門＞
グランプリ　『時は立ちどまらない』　テレビ朝日
優秀賞　『足尾から来た女』　NHK
優秀賞　『今日の日はさようなら』　日本テレビ放送網
優秀賞　『最高の離婚Special2014』　フジテレビジョン
優秀賞　『チキンレース』　WOWOW
ローカル・ドラマ賞：『ダルマさんが笑った。』　NHK高知放送局
　　『レディレディ～トイレで泣いたこと、ありますか?～』　中京テレビ放送
特別賞：　『三匹のおっさん～正義の味方、見参!!』（テレビ東京）
　　主演：北大路欣也・泉谷しげる・志賀廣太郎
　　北九州フィルム・コミッション
海外作品特別賞：『おかゆ屋がメッカ巡礼へ』（インドネシア）
　　『星から来たあなた』（韓国）
　　『トーン・ヌア・ガオ～純金～』（タイ）
Best Actor in Asia：キム・スヒョン

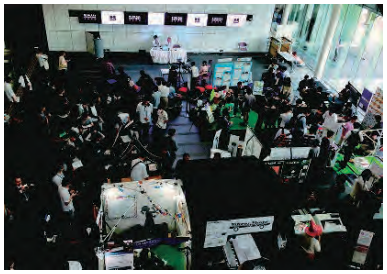
●シンポジウム・海外作品上映会

シンポジウム「アジアにおけるドラマ交流～ドラマの海外発信と制作交流～」
・モデレーター：こうたきてつや（日本大学芸術学部・名誉教授）
・パネリスト
タ　イ：ポンパット・ワチラバンジョン（『トーン・ヌア・ガオ～純金～』監督）
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ：イマム・タントウィ（『おかゆ屋がメッカ巡礼へ』原案）
　　ダニ・サパウィ（『おかゆ屋がメッカ巡礼へ』ラインプロデューサー）
韓　国：ムン・ボミ（『星から来たあなた』制作会社 HB Entertainment 代表・CEO）
　　ユン・ヨンボ（『星から来たあなた』制作会社 HB Entertainment コンテンツ事業本部長）
日　本：杉田 成道（日本映画テレビプロデューサー協会・会長）
　　西村 与志木（NHKエンタープライズ・エグゼクティブ・プロデューサー）

海外作品上映会：上映作品『星から来たあなた』（韓国）第1話〔DVD上映〕
解説：ムン・ボミ（『星から来たあなた』制作会社 HB Entertainment 代表・CEO）



オフィシャルイベント



名　称：デジタルコンテンツ EXPO 2014
会　期：2014年10月23日（木）～26日（日）
会　場：日本科学未来館
主　催：経済産業省／（一財）デジタルコンテンツ協会
共　催：日本科学未来館
後　援：総務省／文化庁／観光庁／東京都／江東区／東京商工会議所／
CG-ARTS 協会（（公財）画像情報教育振興協会）／（一財）家電製品協会／
（一社）電子情報技術産業協会／
（一社）コンピュータエンターテインメント協会／（一社）日本動画協会／
（一社）VFX-JAPAN／（公財）ユニジャパン／
日本バーチャルリアリティ学会／
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム／3Dコンソーシアム／
立体映像産業推進協議会／上海マルチメディア産業協会／
日中CG文化交流協会／香港貿易発展局／韓国コンテンツ振興院／
台湾デジタルコンテンツ産業推進室
対　象：業界関係者及び一般
来場者数：40,719人（延べ）

■内容
【講演・出展数（全体）】
シンポジウム／セミナー／ステージ／ワークショップ：18セッション
展示：67団体
【実施プログラム】

●Innovative Technologies 2014（展示／ステージ／表彰）
技術戦略マップ2012（コンテンツ分野）で示されている技術開発の方向性に基づき、他産業への応用や新市場創出の可能性がある先進的な技術を広く公募により選出し、デジタルコンテンツ EXPO の会場で一般来場者に向け展示・実演したものである。20件の先進的技術が、有識者で構成される審査委員会によって採択、展示され、開催初日に、産業界／学界等の専門家からなる特別賞選考会を実施。20件の採択技術の中から、特にコンテンツ産業以外の分野への波及・応用の可能性が高い技術として、「Industry」「Culture」「Human」「Ecology」の4つの特別賞を選考した。また本年は、ACM SIGGRAPH の Executive Committee を代表して Jacquelyn Ford Morie 氏より ACM SIGGRAPH Special Prize が選考され、特別賞と合わせて表彰を行った。

●Features2014
市場の成長性や他産業への応用可能性の観点から特に注目すべきコンテンツ技術の分野を「Features2014」として取り上げた。今年は腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定されたデバイス「ウェアラブル」の展示実演および講演、セミナーを行った。

●特別企画（シンポジウム／セミナー／ステージ）
「Innovative Technologies 2014」の最新技術をステージにて紹介する企画や、AR／VRやインタラクティブ・テクノロジーによって未来はどのように変わるのかという可能性を探るシンポジウムの開催、空中に絵を描ける3Dプリントペンでの作品作りや、紙に銀で書いて印刷する電子回路など、モノ作りシーンで注目を集めるワークショップなどを実施した。

●International Showcase
海外の友好団体との連携による海外の最新技術や作品の紹介、在日大使館や海外機関を招いて、英語で展示技術を紹介する「English Guided Tour」などを実施した。

●Content Technology Showcase
企業や大学で開発された先進的なコンテンツ技術を紹介した。展示エリアでは、最新のテクノロジーを開発者の解説を聞きながら体験できることができた。展示の他、セミナー、シンポジウムなどを実施した。

●日本科学未来館　共催企画
日本科学未来館にて研究中のVR・テレイグジスタンス研究の流れと、これからのテレイグジスタンス社会の実現についてセミナーを開催した。

オフィシャルイベント　文化庁映画週間

名　称：第11回文化庁映画週間
会　期：2014年10月23日（木）～10月27日（月）
会　場：グランドハイアット東京／シネマート六本木
主　催：文化庁
共　催：（公財）ユニジャパン
対象：映像業界関係者、一般ほか
来場者数：633人

■内容

●平成26年度 文化庁映画賞贈呈式

10月23日（木）　20:00～

・文化記録映画部門
　文化記録映画大賞　『ある精肉店のはなし』（纐纈あや）
　文化記録映画優秀賞　『鬼来迎－鬼と仏が生きる里－』（村山正実／片岡 希／井上 実）
　文化記録映画優秀賞　『鳥の道を越えて』（今井友樹）

・映画功労部門
　生頼 範義（映画ビジュアル制作）／酒匂 正弘（映画照明）／
　佐藤 富士男（映画録音）／仙元 誠三（映画撮影監督）／
　半藤 克美（アニメーション美術）／松田 孝（衣装）／
　宮澤 誠一（映画編集・演出）

●平成26年度 文化庁映画賞受賞記念上映会

10月26日（日）

11:00～　『鳥の道を越えて』
14:00～　『鬼来迎－鬼と仏が生きる里－』
16:00～　『ある精肉店のはなし』

●シンポジウム－ MOVIE CAMPUS －

10月27日（月）14:00～17:30

第一部『「アナ雪」を超えろ！ ～日本のフルCGアニメへの挑戦』
・ゲスト：荒牧 伸志（監督＆プロデューサー／SOLA DIGITAL ARTS）／
　野口 光一（東映アニメーション㈱ 映像企画部 プロデューサー）／
　諏訪 道彦（讀賣テレビ放送㈱ 東京支社 編成局 アニメーション部
　エグゼクティブ・プロデューサー）

第二部『羽ばたけ！ 映画の撮影スタッフ～人材育成と未来』
・ゲスト：兼松 熙太郎（協同組合日本映画撮影監督協会 理事長／撮影助手育成塾 塾長）／
　藤澤 順一（撮影）／新家子 美穂（撮影）／二藤部 武男（撮影助手）
・モデレーター：佐伯知紀（文化庁文化部芸術文化課 主任芸術文化調査官）

平成26年度 文化庁映画賞贈呈式

平成26年度 文化庁映画賞受賞記念上映会

シンポジウム－ MOVIE CAMPUS －

オフィシャルイベント

© 2014 TIFF

© 2014 TIFF

© 2014 TIFF

© 2014 TIFF

© 2014 TIFF

名　称：第27回東京国際映画祭
会　期：2014年10月23日〜31日
会　場：六本木ヒルズ（港区）、TOHOシネマズ 日本橋（中央区）他
主　催：（公財）ユニジャパン（第27回東京国際映画祭実行委員会）
共　催：経済産業省（マーケット部門）／国際交流基金アジアセンター（アジア映画交流事業）／東京都（コンペティション部門）
後　援：総務省／外務省／環境省／観光庁／港区／㈱日本貿易振興機構／東京国立近代美術館フィルムセンター／（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団／（公財）JKA／（一社）日本経済団体連合会／東京商工会議所／（一社）日本映画製作者連盟／（一社）映画産業団体連合会／（一社）外国映画輸入配給協会／モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)／全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／特定非営利活動法人映像産業振興機構／（一社）日本映像ソフト協会／（一財）角川文化振興財団／（一財）デジタルコンテンツ協会／（一社）デジタルメディア協会
支　援：文化庁（国際芸術フェスティバル支援事業）
補　助：（公財）JKA（競輪補助事業）
オフィシャルパートナー：木下グループ／日本コカ・コーラ㈱／キャノン㈱・キャノンマーケティングジャパン㈱
プレミアムスポンサー：㈱WOWOW／フィールズ㈱／アウディジャパン㈱
スポンサー：大和証券グループ／ソニー㈱／㈱TASAKI/ソニーPCL㈱／㈱ぐるなび／カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱
コーポレートパートナー：松竹㈱／東宝㈱／東映㈱／㈱KADOKAWA/日活㈱／森ビル㈱／TOHOシネマズ㈱／（一社）映画演劇文化協会
メディアパートナー：読売新聞／J-WAVE／㈱ドワンゴ／スカパーJSAT㈱／THE WALL STREET JOURNAL／テレビ朝日／LINE㈱／BS日本映画専門チャンネル
フェスティバル サポーター：セイコーホールディングス㈱／㈱エアウィーヴ／MHD モエ ヘネシー ディアジオ㈱／CineGrid／ゲッティ イメージズ ジャパン㈱／㈱クララオンライン
対　象：全て（一般・ビジネス）
来場者数：223,912人

■内容
●オープニング：10月23日（木）　六本木エリアにて
レッドカーペット、オープニング・セレモニー、オープニング作品上映『ベイマックス』、オープニング・レセプション
●歌舞伎座スペシャルナイト：10月27日（月）　歌舞伎座にて
市川染五郎氏による歌舞伎舞踊「石橋（しゃっきょう）」とトークショー
映画上映『街の灯』
●クロージング上映『寄生獣』：10月30日（木）　TOHOシネマズ六本木ヒルズにて
●クロージング：10月31日（金）　六本木エリアにて
クロージングセレモニー（各賞授賞式）、クロージング・パーティー
●作品上映：主要部門・特集
コンペティション、特別招待作品、アジアの未来、日本映画スプラッシュ、ワールド・フォーカス、CROSSCUT ASIA #01 魅惑のタイ、庵野秀明の世界　他

受賞結果：	東京グランプリ	『神様なんかくそくらえ』
	審査員特別賞	『ザ・レッスン／授業の代償』
	最優秀監督賞	ジョシュア・サフディ、ベニー・サフディ『神様なんかくそくらえ』
	最優秀女優賞	宮沢りえ『紙の月』
	最優秀男優賞	ロベルト・ヴィエンツキェヴィチ『マイティ・エンジェル』
	最優秀芸術貢献賞	『草原の実験』
	観客賞	『紙の月』
	WOWOW賞	『草原の実験』
	アジアの未来 作品賞	『ゼロ地帯の子どもたち』
	国際交流基金アジアセンター特別賞	ソト・クォーリーカー　『遺されたフィルム』
	日本映画スプラッシュ 作品賞	『百円の恋』

●マーケット
TIFFCOM2014 Marketplace for Film & TV in Asia
●特別上映作品・共催／提携企画
MoMA ニューヨーク近代美術館映画コレクション、第11回文化庁映画週間、フィルムメーキング・サバイバル講座「映画は完成したけれど」、みなと上映会、日本映画監督協会新人賞上映とシンポジウム、映画の未来〜新しい映画鑑賞システムを体験!!、「ウルトラセブン」HDリマスター2.0 〜円谷プロ特撮への誘い！ 〜、MPAセミナー／映画と資金 ー終わらないドラマ、第4回日本学生映画祭、「映画館に行こう！」実行委員会×スカパー！ 映画部　第3回 新作映画イッキに見せます！ in 東京国際映画祭、スカパー!日曜シネマテーク SPECIAL EVENT Drive-in Theater at TOKYO TOWER「バック・トゥ・ザ・フューチャー」、スターチャンネル×スカパー！ 映画部"喜劇王吹替トーク" TIFF meets チャップリン、CineGrid@TIFF 2014、コリアン・シネマ・ウィーク2014、シネマトラベル presented by ショートショート フィルムフェスティバル＆アジア、第11回ラテンビート映画祭、2014東京・中国映画週間、ポーランド映画祭2014、第8回田辺・弁慶映画祭　他

オフィシャルイベント

名　称：マンガフェスティバル in インドネシア
会　期：2014年10月31日（金）～11月9日（日）10日間
会　場：インドネシア大学／駐インドネシア日本国大使公邸／紀伊國屋書店ジャカルタ店／インドネシアブックフェア会場（イストラスナヤン）
主　催：マンガフェスティバル in インドネシア実行委員会／経済産業省
後　援：（一社）コンテンツ海外流通促進機構
協　力：㈱アニメイト／㈱紀伊國屋書店／デジタルカタパルト㈱／㈱トーハン／㈱ブックリスタ「コミック出版社の会」㈱秋田書店／㈱KADOKAWA／㈱集英社／㈱小学館／㈱少年画報社／㈱新潮社／㈱日本文芸社／㈱白泉社／㈱双葉社／㈱芳文社／㈱リイド社（開催時・50音順）
対　象：現地ビジネスパーソン、大学生、一般読者
来場者数：35,514人

■内容
成長著しい東南アジアのインドネシア共和国ジャカルタにおいて、「MANGA」の海外への発信を強化するとともにビジネスマッチング促進を目的に、「コミック出版社の会」が主体となり次の企画を実施。

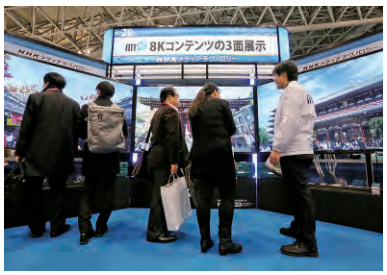
（1）インドネシア大学 学生協業講演会／来場者数 843人
・2014年10月31日（金）インドネシア大学 Depokキャンパス Auditorium講堂 13:30～17:30
①冒頭挨拶：インドネシア大学 日本学科長　I KETUT SURAJAYA氏
実行委員長　清水保雅氏（講談社 常務取締役）
②“マンガ、アニメ、イラスト、声優…君の“好き”を仕事にしよう！”
KADOKAWA Contents Academy 代表取締役社長 CEO　古賀鉄也氏
③“「美少女戦士セーラームーン」20周年プロジェクト 甦ったセーラー戦士たち”
講談社 第三編集局 新コミック雑誌研究部 部長　小佐野文雄氏
講談社 ライツ事業局ライツ企画部 副部長　土屋潤一郎氏
東映アニメーション 企画営業本部テレビ企画部テレビ室プロデューサー　神木 優氏
④“マンガ家とマンガ編集者への素朴な疑問”
漫画家　橋口たかし先生
小学館「週刊少年サンデー」編集部デスク　冠 茂氏
⑤“「週刊少年ジャンプ」の秘密、「月刊りぼん」の秘密”
集英社「週刊少年ジャンプ」編集長　瓶子吉久氏
集英社「月刊りぼん」編集長　冨重実也氏

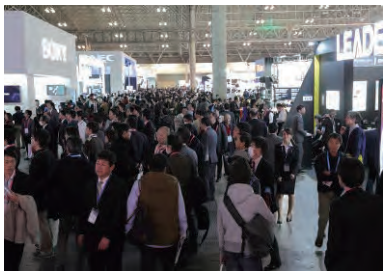
（2）交流会／来場者数 136人
・2014年10月31日（金）駐インドネシア日本国大使公邸　19:30～21:30
①実行委員長挨拶 講談社 常務取締役　清水保雅氏
②日本政府代表挨拶 経済産業省 商務情報政策局 文化情報関連産業課 課長　柏原恭子氏
③インドネシア共和国政府挨拶　Billy Iqbal Alamsjah氏、Director of Creative Economy Based on Media, Ministry of Tourism
④駐インドネシア日本国大使挨拶 日本国大使　谷崎泰明氏
⑤日系企業プレゼンテーション
1. デジタルカタパルト 取締役　平柳竜樹氏
2. KADOKAWA Contents Academy 代表取締役社長 CEO　古賀鉄也氏
3. 小学館アジア 代表取締役社長 加治屋文祥氏、ゼネラルマネージャー　鎌倉幸江氏
⑥商談、歓談

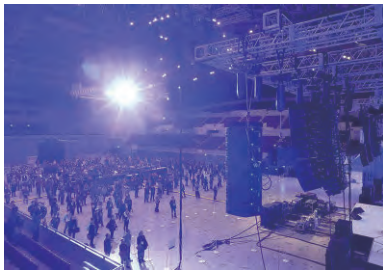
（3）作家サイン会／来場者数 204人
・2014年11月1日（土）紀伊國屋書店ジャカルタ店　13:00～19:00
①橋口たかし先生、小学館「週刊少年サンデー」編集部 デスク　冠 茂氏
②いしかわえみ先生、集英社「月刊りぼん」編集部　金岡聖樹氏
③小田すずか先生、KADOKAWA「あすか」編集部 編集長　鈴木祐里子氏
④前川たけし先生、講談社「月刊少年マガジン」編集部 編集次長　江田慎一氏

（4）コミック展示会／来場者数 34,331人、ブックフェア総来場者数 250,000人
・2014年11月1日（土）～9日（日）イストラスナヤン　10:00～21:00
インドネシア最大規模の書籍イベント「Indonesia International Book Fair」への国内コミック出版社による共同出展。
電子コミック 77作品・5サービス、コミックス 697冊、原画・ビジュアル 54作品、コミック原作のアニメーション放映 12作品、海賊版対策、正規版グッズの試験販売、アンケート調査等を実施。

オフィシャルイベント　Inter BEE 2014
International Broadcast Equipment Exhibition







名　称：Inter BEE 2014
会　期：2014年11月19日（水）～21日（金）
会　場：幕張メッセ
主　催：（一社）電子情報技術産業協会（JEITA）
後　援：総務省／経済産業省（建制順）
日本放送協会（NHK）／（一社）日本民間放送連盟（JBA）／
（一社）電波産業会（ARIB）（順不同）
対　象：国内外の放送局関係者、CATV、コンテンツ制作者、コンテンツ流通関係者、
施設関係者、映像・音響・照明技術者、等
来場者数：37,959人

■内容

■過去最多となる977社・団体が1,773小間を出展、来場者数も過去最多の37,959名を記録

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：会長 山本正已／富士通株式会社 代表取締役社長）は、2014年11月19日（水）から21日（金）までの3日間、幕張メッセ（千葉市美浜区）にて、音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2014」を開催した。
開催規模は、過去最多となる出展者数977社・団体（うち海外33カ国・地域から543社）、出展小間数1,773小間となり、会場規模を1ホール拡張し、幕張メッセ・展示ホール1から6までを使用して開催した。〔2013年実績：918社・団体（うち海外30カ国・地域から536社）1,491小間〕
登録来場者数は、3日間を通じて37,959人と過去最多となった。報道関係者は昨年を上回る411名が国内外から取材に訪れ、Inter BEEの記事や映像が国内外各国・地域に向けて発信された。

■国内随一の「国際メディア総合展示会」

50回目となる節目の開催を迎えたInter BEE 2014は、「映像・放送関連機材部門」、「プロオーディオ部門」、「プロライティング部門」、「ICT／クロスメディア部門」の4部門で構成され、放送事業者をはじめ、関連機器メーカ、サービス事業者、コンテンツビジネス関係者、さらには、クリエーターやデザイナーなど、幅広いステークホルダーが一堂に会し、年に一度の最新トレンドの情報発信、情報交流のハブとなる機会として活用されている。
また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定により、大きな期待が寄せられる放送サービスの高度化に向けて、4K・8Kなどの超高精細映像技術、セカンドスクリーンやスマートテレビをはじめ、HTML5動画配信、デジタルサイネージやプロジェクションマッピング等、国内外の様々な企業・団体からメディア産業の今とこれからを指し示す注目の提案が集まり、国内随一の「国際メディア総合展示会」となった。

■国内外エキスパートによる多彩なコンファレンスの同時開催

Inter BEEには、海外から音や映像の専門家やキーパーソンが来日するため、日本に居ながらにして、世界の最新の動向を共有できる点も大きな魅力となっている。
開催初日の基調講演をはじめ、特別講演や招待講演など、国内外の企業や団体のキーパーソンが、先進的な取り組みや最新動向などを連日紹介した。
米国NAB Showで開催されている有料セッションの日本版を今回も開催し、米国で注目の高かったトピックス4テーマを海外一流講師がレクチャーした。
さらに、毎回注目を集める「映像シンポジウム」、「音響シンポジウム」、「チュートリアル・セッション」など、国内外からエキスパートを迎え、最新動向を発信した。

■第50回開催記念イベント「INTER BEE EXPERIENCE」

Inter BEEは本年、第50回開催を迎えるのを契機に、未来を見据え、展示会としての機能をもう一歩高めるべく、体験を通じてユーザと製品・技術・情報がより効果的に触れ合うことのできる場を目指し、「INTER BEE EXPERIENCE」を実施し、国内展示会では初となる、音響各社の参加による吊り下げラインアレイスピーカーの体験デモンストレーションを実施した。

オフィシャルイベント

31th ATP Awards
TV Grand Prix

名　称：第31回ATP賞
会　期：2014年11月27日（木）
会　場：六本木ハリウッドホール
主　催：（一社）全日本テレビ番組製作社連盟
共　催：
後　援：総務省／経済産業省／国土交通省観光庁／日本放送協会／
　　（一社）日本民間放送連盟
対　象：製作会社／放送事業者／関係諸団体
来場者数：450人

■内容
●創り手が選ぶ創り手のための賞『第31回ATP賞』のグランプリ発表と受賞式典。
●安藤友裕総務省情報流通行政局長、籾井勝人NHK会長、井上弘民放連会長、重延浩JAPAN国際コンテンツフェスティバル実行副委員長よりご祝辞を頂戴した。
●146本に及ぶ今年度応募作品の中から、ATP会員社125社、審査員による投票の結果、互いに38票を獲得したドキュメンタリー部門『憎しみとゆるし マニラ市街戦 その後』（NHKエデュケーショナル、椿プロ／NHK BS1）、情報・バラエティ部門『和風総本家』世界で見つけたMade in Japan第12弾（仁プロデューシング／テレビ大阪）の2作品がATP史上初のグランプリ同時受賞となった。
※2014年度の受賞作品一覧については、第31回ATP賞ホームページ参照
http://www.atp.or.jp/award/award_031.html

～最優秀賞審査講評～

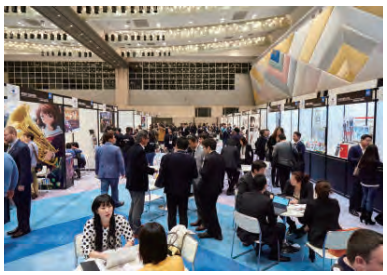
［ドラマ部門］
◆連続ドラマW「私という運命について」　【26票】
バブル崩壊後、9.11テロ、地下鉄サリン事件、新潟県中越地震など様々な出来事の中を生き抜く、女性総合職第1号の主人公の半生を、純愛物語として描いた「激動の中の女の選択を、見詰め続けたドラマ」。「選べなかった未来などない。運命は自らの手で切り開くのだ」というメッセージも力強く伝わる。16mm撮影による、新潟・長岡の美しい雪景色やマレーシアの熱帯色を背景に、永作博美さんや宮本信子さんなど演技陣も好演。感動的な秀作となった。

［ドキュメンタリー部門］
◆BS1スペシャル「憎しみとゆるし マニラ市街戦 その後」　【38票】
妻と子供を殺されたキリノ大統領が日本人戦犯を恩赦するまでの葛藤を縦軸に、戦後の国際情勢の視点も織り交ぜられた労作だ。日本兵への恨みを抱き続けるフィリピン人、戦犯となった日本人や家族、緻密な取材と証言者、資料の発掘、それらが丹念に構成され心が揺さぶられる作品に仕上がっている。時代の記録に留まらず、人として見据えるべきものを問いかけ、人間の憎しみの根深さと、許すという苦しみに向き合う強さを教えてくれた。

［情報・バラエティ部門］
◆「和風総本家」世界で見つけたMade in Japan　第12弾　【38票】
誰も知らない鋸が、ヴァイオリンの名器ストラディバリウスの修復に使われている。よくぞこのネタを見つけたという感嘆の気持ちと共に、お互いの様子を本人達に見せることで、たった一つの道具を通し「使う人と作る人」の関係を映し出す見せ方に魅了された。テレビ制作者として、丁寧な番組の作り方とお互いに見せるという演出の“発明”に脱帽。「世界の中のニッポン」という企画自体は数多あるが、その中で断トツに面白い番組。

オフィシャルイベント

AnimeJapan 2015 アニメのすべてが、ここにある。



名　称：AnimeJapan 2015
会　期：ビジネスエリア会期　2015年3月20日（金）～21日（土）
　　メインエリア会期　2015年3月21日（土）～22日（日）
会　場：東京ビッグサイト 東展示棟 1～6ホール［メインエリア］／
　　会議棟 レセプションホール［ビジネスエリア］
主　催：AnimeJapan 実行委員会
特別協賛：dアニメストア
協　賛：㈱SANKYO／フィールズ㈱／アニメパス／㈱講談社／㈱集英社／
　　㈱小学館
後　援：（一社）日本動画協会／コミック出版社の会
特別協力：経済産業省
事務局：AnimeJapan 運営事務局
対　象：一般来場者／国内・海外ビジネス来場者／招聘海外バイヤー／
　　アニメ関連企業・団体ほか
総来場者数：121,540人
下記を含む
※ビジネス来場者数：2,500人（国内海外合算）
※プレス来場社数　：659社（国内574社／海外85社）

■内容
AnimeJapanは日本を代表するアニメの総合見本市。商談やアニメビジネス情報の収集を主な対象とする「ビジネスエリア」、一般アニメファンを主な対象とする「メインエリア」とに大きく分かれる。

●ビジネスエリア［出展社数：39社］
ビジネス出展社とビジネス来場者との商談が行われるビジネスエリアでは、商談スペース、WiFi環境、ドリンクコーナーや、国内外のビジネス来場者からの様々な問い合わせに対応するコンシェルジュの設置など充実の商談環境を有する。
・ビジネス来場者数 2,500人／招聘海外バイヤー 454人　※会期中のべ人数
・無料商談スペース、有料個室商談スペース、バイヤーズラウンジの設置
・アニメビジネスコンシェルジュの設置
・JETRO Anime Biz Match（JETRO招聘バイヤーと国内企業とのマッチング）の実施
・レセプションパーティ（招聘海外バイヤーと出展社とのパーティ）

●メインエリア［出展社数：138社］
メインエリアでは日本を代表するアニメ関連企業が出展ブースにて作品PR・映像上映・グッズ販売・ステージイベントなどを実施。また、様々な魅力的な主催施策を展開しアニメ文化を立体的に楽しむことが出来る。
・メインエリア出展ブース
・主催施策（RGBステージ／Anime＋ステージ／オープンシアター powered by Newtype／セミナーステージ／コラボレーションショーケース／Production Works Street／クリエイター体験講座／コスプレイヤーズワールド／チャリティオークション／謎解きゲーム／オフィシャルグッズ／海賊版対策_MAG PROJECT）

●ファミリーアニメフェスタ
メインエリア内の一部にファミリー専用エリアを設け、ファミリー向けコンテンツを集約。小学生以下入場無料、専用入場口の設置など、ファミリー層に安心して楽しんで頂けるエリアを用意。
・主催施策（こどもアニメスタジオ／プレイコーナー／キャラクターグリーティング／ファミリーステージ）

●近隣会場施策
・AJ Night
・アニ☆コン in AnimeJapan

CoFesta2014 Partner Events

コ・フェスタパートナーイベントとは、コンテンツ産業（ゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画）、およびファッション、デザイン等コンテンツと親和性の高い産業の各業界・組織が主催するイベントで国際性、規模等でオフィシャルイベントに準じるものでコ・フェスタ実行本部が認めたイベント。

本年度は 15 のイベントをパートナーイベントとして認定し、コ・フェスタとして情報発信等の支援を行った。

- ○池袋シネマチ祭
- ○SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2014
- ○第 15 回広島国際アニメーションフェスティバル
- ○京都国際マンガ・アニメフェア 2014
- ○吉祥寺アニメワンダーランド 2014
- ○山形国際ドキュメンタリー映画祭
- ○第 2 回 アニ玉祭（アニメ・マンガまつりin 埼玉）
- ○第 5 回にいがたアニメ・マンガフェスティバル
- ○Tokyo Docs 2014
- ○MPTE AWARDS 2014
- ○J-Music LAB 2014 in hai-DAY
- ○きものサローネ in 日本橋 2014
- ○第 5 回 映文連 国際短編映画祭「映文連アワード 2014」
- ○第 6 回 京都ヒストリカ国際映画祭
- ○第 36 回 PFF ぴあフィルムフェスティバル

パートナーイベント　池袋シネマチ祭

名　称：池袋シネマチ祭
会　期：2014年6月6日～8日
会　場：シネマサンシャインほか映画館5館／アニメイトホール／中池袋公園
主　催：池袋シネマチ祭実行委員会
共　催：新文芸坐／東京テアトル㈱／㈱ヒューマックスシネマ／㈱アニメイト／㈱ソフマップ
後　援：豊島区／（公財）としま未来文化財団／豊島区商店街連合会／（一社）豊島区観光協会／東宝㈱／東映㈱／松竹㈱／㈱KADOKAWA
特別協賛：㈱三井住友銀行
協　賛：大原情報ビジネス専門学校／㈱スペース／㈱東急コミュニティ／サンシャインシティ／ニュートン㈱／㈱ビー・ワイ・オー／㈱モトックス
協　力：立教大学／西武鉄道㈱／（一社）日本動画協会／㈱ぐるなび／㈱モトックス／㈱創発としま
企画協力：エクスアーツジャパン㈱／レインボーバード合同会社／㈱トランジスタ／㈱オブジェクト／㈲シューティングスター／㈱サンライズ社
イベント連携・共催：㈱アイムビレッジ／㈱OISON／NPO法人グリーンバード／㈱結わえる
対　象：一般

■内容
「池袋シネマチ祭」とは、新しい映画の楽しみ方を提案する「街」と「映画」のファンを増やす映画祭です。池袋は、沿線リピーターに支えられる世界第２位の巨大ターミナルでありながら、古くから続く地域の面影や、地域住民の強いつながりなど、「東京ローカル」ともいえる街です。
「池袋シネマチ祭」は、そうしたコミュニティを醸成することで街の賑わいを活性化し、駅ナカから街ナカへ来街者を拡大していく街づくり視点で、映画産業の活性にも寄与することを目的に発足した活動です。

パートナーイベント　SKIP シティ国際 D シネマ映画祭 2014

名　称：SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014
会　期：2014年7月19日～27日
会　場：SKIPシティ 映像ホール／多目的ホール ほか
主　催：埼玉県／川口市／SKIPシティ国際映画祭実行委員会／特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
共　催：（公財）埼玉県産業文化センター
後　援：総務省／外務省／経済産業省／文化庁／（一社）日本映画製作者連盟／（一社）映画産業団体連合会／（公財）ユニジャパン／（一社）外国映画輸入配給協会／（公社）映像文化製作者連盟／（一社）日本映画テレビ技術協会／（一社）日本映画テレビプロデューサー協会／協同組合日本映画監督協会／協同組合日本映画撮影監督協会／協同組合日本映画製作者協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／生活衛生同業組合埼玉県映画協会／（一財）デジタルコンテンツ協会／特定非営利活動法人映像産業振興機構／NHK／テレ玉／FM NACK5／埼玉新聞社／ウクライナ大使館／オランダ王国大使館／カナダ大使館／セルビア共和国大使館／デンマーク大使館／トルコ共和国大使館／ブラジル連邦共和国大使館／フランス大使館／駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
協　賛：ソニービジネスソリューション／ソニーPCL／富士フイルム／清水建設／竹中工務店／シミズ・ビルライフケア／アサヒファシリティズ／NTTコミュニケーションズ／埼玉りそな銀行／武蔵野銀行／埼玉縣信用金庫／しまむら／浦和ロイヤルパインズホテル／セントラル自動車技研／ジャパンビバレッジイースト／三国フーズ／サッポロビール／サイサン／（公財）埼玉県公園緑地協会／伊藤園／ジャスト／タムロン／サイバーリンク／SKIPシティ国際Dシネマ映画祭を応援する市民の会
協　力：川口商工会議所／（社）川口青年会議所／川口銀座商店街振興組合／鳩ヶ谷商工会／ジェイコム北関東（旧JCN関東）／ジェイコム川口戸田（旧JCN埼玉）／埼玉高速鉄道／国際興業バス／日本映像翻訳アカデミー
メディアパートナー：ゲッティイメージズジャパン／アヴァンティ・プラス
補　助：（財）JKA
対　象：映像クリエイター、監督等の作品関係者、審査員、一般
来場者数：50,570人（2014年度）

■内容
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、デジタルで撮影・制作された作品のみにフォーカスした国際コンペティション映画祭です。世界中から、エンターテインメント性とデジタルの新たな表現の可能性を感じる作品を公募し、次代を担うクリエイターを発掘することにより、新たな映像産業の発展に寄与することを目的に、2004年から毎年開催し、2014年、第11回目の開催を迎えます。本映画祭のメインである「コンペティション」には、長編部門、短編部門があり、更に2014年、より多岐にわたるクリエイターの発掘のため、新たにアニメーション部門を設けました。長編部門は広く世界中から公募し、2014年も84の国と地域から500本を超えるエントリーがありました。短編部門とアニメーション部門は、日本のクリエイター支援を目的として国内作品に限定しています。各コンペティション部門は、国内外の映画業界の第一線で活躍されている方々で構成される審査員によって期間中に審査が行われ、最終日に各賞が発表・授与されます。また期間中には、審査員や作品関係者をはじめ、世界各国からゲストが参加し、観客の皆様との交流も図っています。

パートナーイベント　第 15 回広島国際アニメーションフェスティバル

名　称：第15回広島国際アニメーションフェスティバル
会　期：2014年8月21日～ 25日
会　場：アステールプラザ
主　催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会／広島市／（公財）広島市文化財団
共　催：国際アニメーションフィルム協会日本支部（ASIFA-JAPAN）
後　援：総務省／外務省／経済産業省／観光庁／国際交流基金／日本政府観光局（JNTO）／広島県／広島県教育委員会／広島市教育委員会／（公財）広島平和文化センター／（公財）広島観光コンベンションビューロー／中国経済連合会／広島県商工会議所連合会／広島県経営者協会／広島経済同友会／（一社）広島青年会議所／広島市PTA協議会／（公社）映像文化製作者連盟／（一社）日本動画協会／（一社）日本映画テレビ技術協会／中国新聞社／朝日新聞社／毎日新聞広島支局／読売新聞広島総局／日本経済新聞社広島支局／産経新聞社／（一社）共同通信社／時事通信社広島支社／NHK広島放送局／中国放送／広島テレビ／広島ホームテレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／FMちゅーピー76.6MHz／ふれあいチャンネル／ひろしまケーブルテレビ／㈱アニマックスブロードキャスト・ジャパン／カートゥーン ネットワーク（ターナージャパン㈱）
補助／助成／協賛：（公財）JKA／文化庁／駐日ハンガリー大使館／ハンガリー人材省／ハンガリー国立メディア情報通信庁-メディア委員会／ハンガリー・フィルム・ユニオン／ハンガリー国立映画基金／ハンガリー外務貿易省／ハンガリー芸術アカデミー／ケチケメートフィルム㈲／モホイーナジ芸術大学／ハンガリー国立デジタルアーカイヴ・フィルムインスティチュート／ハンガリー政府観光局／ハンガリー国立銀行／ソユーズムリトフィルム スタジオ／（公財）フランダースセンター／ドイツ文化センター／ブリティッシュ・カウンシル／ユニフランス・フィルム・インターナショナル／カナダ大使館／ケベック州政府在日事務所／カナダ国立映画制作庁
対　象：アニメーション制作者・監督・作家・関係者、学生、一般

■内容
広島国際アニメーションフェスティバルは、国や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術の国際的振興とアニメーションを通じた国際的相互理解を目的とするASIFAの心と、世界の恒久平和を願う広島市の心が一つになって、1985年、被爆40周年記念事業として創設されました。世界各国・地域から応募される最新の短編アニメーション作品から公開審査によりグランプリ等の優秀賞を選定するコンペティションのほか、国内外の優れた作家の特集、長編作品、子ども向け作品、平和のための作品、学生優秀作品等を上映する特別プログラム、セミナー、シンポジウム、ワークショップ、展示、エデュケーショナル・フィルム・ マーケット等で構成する総合的な映画祭です。プログラムと運営の国際的な質の高さは、アニメーション界のみならず広くメディアアート界全般に高く評価されています。

パートナーイベント　京都国際マンガ・アニメフェア 2014

名　称：京都国際マンガ・アニメフェア2014
会　期：2014年9月20日～21日
会　場：みやこめっせ（京都市勧業館）ほか
主　催：京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会／京都市
共　催：京都国際マンガミュージーアム／KYOTO CMEX 実行委員会／京都コンピューター学院／京都情報大学院大学
対　象：一般、マンガ・アニメを活用した商売に興味がある事業者、クリエーター志望者
来場者数：40,576人（2014年度）

■内容
関西圏企業と首都圏企業を結ぶビジネスマッチングの場を創出するため、関西で優秀な若手クリエイターが育つための市場づくり、マンガアニメファン及び外国人も含めた観光客の新たな層の掘り起こしなど、関西圏のコンテンツ市場の促進を図るためのイベントです。

パートナーイベント　吉祥寺アニメワンダーランド 2014

名　称：吉祥寺アニメワンダーランド2014
会　期：2014年10月4日～13日
会　場：吉祥寺駅周辺（井の頭公園ステージ・武蔵野商工会館・武蔵野公会堂ほか）
主　催：吉祥寺ウェルカムキャンペーン委員会（吉祥寺活性化協議会・武蔵野商工会議所・武蔵野市商店会連合会）
共　催：武蔵野市
後　援：武蔵野市開発公社／東京都／経済産業省関東経済産業局
対　象：一般
来場者数：32,000名（2013年度）

■内容
吉祥寺アニメワンダーランドは、アニメスタジオやアニメーションの原作を生み出した作家達が数多く在住し、多くのアニメコンテンツ作品が生み出されてきた吉祥寺を「作品が生まれる街」と位置づけ、街と在住クリエイターとのコラボレートイベントとして1999年度よりを開催されています。アニメ作品に登場する街も、21世紀の海外からの観光資源として、観光資源の開発も視野に入れつつ、毎年10月2週間にわたり開催しています。

パートナーイベント　山形国際ドキュメンタリー映画祭

名　称：山形国際ドキュメンタリー映画祭
会　期：2014年10月8日～15日
会　場：山形市中央公民館6Fほか市内各所
主　催：認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
共　催：山形市
協　賛：映機工業㈱／スペシャルパートナー：スカパーJSAT㈱
対　象：映画作家、一般
来場者数：22,353人（2013年度）

■内容
アジアで最初に国際ドキュメンタリー映画祭を開催した山形市で2年に一度10月に開催され、世界の最新のドキュメンタリー映画を上映する映画祭です。インターナショナル・コンペティションでありながら、アジアのフレッシュな才能を紹介するもう一つのコンペティション部門「アジア千波万波」は、若く、生き生きとしたエネルギーに出会う場として大きな注目を集め、映画祭のラインアップのなかでも活気に溢れた中心的なプログラムへと成長してきました。このため、アジアと西洋の作家たちと出会い交流を深めることのできる最高の機会となっています。また、映画製作の歴史と多様性に光を当てる特別プログラムやイベントも行っています。

パートナーイベント　第2回アニ玉祭（アニメ・マンガまつりin埼玉）

名　称：第2回アニ玉祭（アニメ・マンガまつりin埼玉）
会　期：2014年10月11日～12日
会　場：ソニックシティ（大宮）
主　催：アニ玉祭実行委員会（（公財）埼玉県産業文化センター／埼玉県／テレビ埼玉／文化放送／FM NACK5／ジュピターテレコム（J:COM）／埼玉新聞社）
後　援：経済産業省関東経済産業局／（一社）日本動画協会／（一社）埼玉県物産観光協会／（公財）埼玉県産業振興公社／（一社）埼玉県商工会議所連合会／埼玉県商工会連合会／埼玉県中小企業団体中央会／さいたま商工会議所／（公社）さいたま観光国際協会／埼玉経済同友会／大宮ソニックシティ㈱／パレスホテル大宮／三国フーズ㈱／NHKさいたま放送局／朝日新聞さいたま総局／産経新聞さいたま総局／東京新聞さいたま支局／日本経済新聞社さいたま支局／毎日新聞社さいたま支局／読売新聞さいたま支局
特別協力：東武鉄道㈱／川越市／久喜市商工会／秩父市／飯能市
協　力：㈱アース・スター エンターテイメント／㈱KADOKAWA／㈱トムス・エンタテインメント／㈱MAGES／西武鉄道㈱／埼玉高速鉄道㈱／首都圏新都市鉄道㈱／秩父鉄道㈱／舞台めぐりサービス三省堂書店大宮店／㈱トーハン／HoneyHoney大宮／大宮銀座商店街協同組合／大宮西口おもてなし実行委員会／豊島区／サンシャインシティ
対　象：一般
来場者数：60,000人（2日間合計）（2013年度）

■内容
「アニ玉祭」は、コンサートあり、ステージショーあり、グッズ販売ありの、アニメ・マンガの総合イベントです。埼玉県内を舞台にしたアニメ作品『あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。』（秩父市）、『らき☆すた』（久喜市鷲宮町）、『神様はじめました』（川越市）、『ヤマノススメ』（飯能市）のほか、今年は全国よりアニメ・マンガの舞台地が「アニ玉祭」に集まりました。世界最大のアニソンフェス“アニサマ”の「アニ玉祭」特別ジョイントライブの開催、「アニソン・アカデミー@さいたま『アニ玉祭』」の公開放送や、「声優トークショー」、「アニメの聖地サミットin埼玉」、アニメの聖地に関連したマーケット・カフェ、観光物産展等、様々なイベントが楽しめるイベントです。

パートナーイベント　第5回にいがたアニメ・マンガフェスティバル

名　称：第5回にいがたアニメ・マンガフェスティバル
会　期：2014年10月18日～19日
会　場：万代エリア：万代シティBP2／新潟市マンガ・アニメ情報館
古町エリア：古町通1～6番町／新潟市マンガの家／新古町版画通／NEXT21アトリウム／JAM日本アニメ・マンガ専門学校／i-MEDIA国際映像メディア専門学校実習棟3F
白山エリア：新潟県政記念館／燕喜館
西大畑エリア：旧齋藤家別邸
主　催：にいがたアニメ・マンガフェスティバル実行委員会［新潟市／JAMアニメ・マンガ専門学校／ガタケット事務局／にいがたマンガ大賞実行委員会］
後　援：新潟県／新潟市教育委員会／新潟日報社／朝日新聞新潟総局／読売新聞新潟支局／毎日新聞新潟支局／産経新聞新潟支局／日本経済新聞社新潟支局／NHK新潟放送局／BSN新潟放送／NST／TeNYテレビ新潟／UX新潟テレビ21／FM PORT 79.0／FM KENT／月刊にいがた／Pasmagazine／月刊新潟Komachi／新潟WEEK！

協　賛：キングラン㈱／新潟交通㈱／㈱第四銀行／㈱エム・アイ・ディ ジャパン／パラカ㈱／ナミックス㈱／セコム上信越㈱／㈱丹青社／新潟信用金庫／石本酒造㈱／新潟縣信用組合／㈱愛宕ファシリティーズ／ALSOK新潟綜合警備保障㈱／新潟県労働金庫／K-Winds・㈲オフィスK／ターミナルホテルチェーン
対　象：一般
来場者数：約55,000人（2014年度）

■内容
多くのマンガ家・ アニメクリエイターを排出する新潟市で開催されるマンガ・ アニメの祭典。原画展や声優トークショー、痛車の展示、コスプレパレードなど、多数の人気イベントで盛り上がります。各エリアを結ぶ無料シャトルバスも運行し、まち全体でマンガ・アニメの世界が楽しめます。

パートナーイベント　Tokyo Docs 2014

名　称：Tokyo Docs 2014
会　期：2014年10月27日〜11月1日
会　場：千代田放送会館
主　催：NPO法人 東京TVフォーラム（TTVF）／（一社）全日本テレビ番組製作社連盟（ATP）
後　援：総務省／経済産業省／東京都／NHK／日本民間放送連盟（民放連）／放送文化基金／放送批評懇談会／放送人の会／全国地域映像団体協議会（全映協）／映像文化製作者連盟（映文連）
協　力：NHKエンタープライズ／PBSインターナショナル／ポレポレ東中野／カナダ大使館／上智大学メディア・ジャーナリズム研究所、モーションギャラリー
助　成：ジャパン・コンテンツローカライズ＆プロモーション支援助成金（J-LOP）／国際交流基金アジアセンター／放送文化基金／東芝国際交流財団／高橋信三記念放送文化振興基金
対　象：テレビ番組制作者、テレビ局、配給業者、一般
来場者数：1,500人（2013年度）

■内容
Tokyo Docs は、2011年に始まり、2014年で4回目を迎える国際ドキュメンタリー祭です。Tokyo Docs は、日本の優れた番組制作者に、番組の国際共同製作を行い、日本の姿を世界に発信する機会を提供することを目的としています。あわせて、他のアジアの番組制作者にも共同製作の機会を提供しています。
Tokyo Docs 2014年の初日には、アジアデーが開催され、日本とアジアの番組制作者の交流を図りました。2日目以降には、ピッチング・ セッション（公開企画提案会議）、個別ミーティング、さまざまなワークショップなどが行われました。そして、最終日には、イベントの締めくくりとして優れたピッチを表彰する授賞式が行われます。放送局のディシジョン・メーカー、番組の配給業者、業界の専門家など約30人のゲストが欧州、北米、アジアから招待されました。

パートナーイベント　MPTE AWARDS 2014　第 67 回表彰式

名　称：MPTE AWARDS 2014　第67回表彰式
会　期：2014年10月28日
会　場：六本木アカデミーヒルズ49
主　催：（一社）日本映画テレビ技術協会
後　援：経済産業省／（一社）映画産業団体連合会／（一社）日本映画製作者連盟／（公財）ユニジャパン／（公社）映像文化製作者連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／全国興行生活衛生同業組合連合会／特定非営利活動法人映像産業振興機構／（一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本アド・コンテンツ制作社連盟／（一社）日本ポストプロダクション協会／日本放送協会／（一社）日本民間放送連盟／（一社）全日本テレビ番組製作社連盟／協同組合日本映画撮影監督協会／協同組合日本映画・テレビ照明協会／協同組合日本映画・テレビ美術監督協会／協同組合日本映画・テレビ録音協会／共同組合日本映画・テレビ編集協会／（公社）日本照明家協会／特定非営利活動法人テレビ日本美術家協会／NPO法人日本ビデオコミュニケーション協会
協　力：クロスコ㈱／㈱映像新聞社／ユニ通信社
対　象：映画・テレビ等の技術関係者・研究者、学生、映像制作関係者、科学映像撮影関係者
来場者数：200人以上（2014年度）

■内容
MPTE AWARDS表彰式は、東京国際映画祭の一環として開催されています。
式では、映画・テレビ等の技術に関係する発明・開発に対し贈られる「第67回技術開発賞」、撮影・照明・録音・美術・編集・アニメーション・VFX・OAGといった映像技術に対し贈られる「第67回映像技術賞」、学生作品を対象とした新たな才能を発掘・育成を目的に設立された「第32回青い翼大賞」、映像業界に30年以上精励し、功労・ 功績のあった方に贈られる「第6回 日本映画テレビ技術協会 栄誉賞」のほか、「第67回映像技術賞審査員特別賞」、「新会友」、「第43回柴田賞」、「第43回小倉・佐伯賞」、「第24回鈴木賞奨励賞」、「第24回鈴木賞」、「第67回技術開発奨励賞」、「第17回 経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）」の表彰が行われました。

パートナーイベント　J-Music LAB 2014 in hai-DAY

名　称：J-Music LAB　2014 in Hai Day
会　期：2014年11月8日～9日
会　場：インドネシア・ジャカルタ市 スナヤン東駐車場
主　催：（一社）日本レコード協会（RIAJ）
協　力：（一財）音楽産業・文化振興財団（PROMIC）
対　象：一般
来場者数：約6万人（2014年度）

■内容
日本音楽の情報発信イベントと立ち上げられ、日本のポップ、ロック、アイドル、アニソンなどを発信していくプロモーション事業でインドネシアのジャカルタで開催されるイベントです。11月8日に「AMIAYA」「TarO&JirO」「Dorothy Little Happy」、9日に「I DON'T LIKE MONDAYs.」「藍井エイル」「Cyntia」と、ロック・ ポップス・ アニメ・ アイドル等、幅広いジャンルのアーティストが出演、オーディエンスに向けて日本音楽のプロモーションを行い、J-Musicのファン層の拡大を図りました。日本のアーティスト以外にも、Hai Dayには「JKT48」や「MALIQ&D'ESSENTIALS」といった現地の人気アーティストも多数出演しました。

パートナーイベント　きものサローネ

名　称：きものサローネ
会　期：2014年11月8日～13日
会　場：三井ホール／野村コンファレンスプラザ日本橋　YUITO5F・6F
主　催：きものサローネ in 日本橋 実行委員会
共　催：京織物卸商業組合／西陣織工業組合
後　援：京都織物卸商業組合
特別協賛：興和㈱／㈱すずのき／吉忠マネキン㈱
特別後援：三井不動産㈱／野村不動産㈱
会場協力：日本橋三井ホール／野村コンファレンスプラザ日本橋
特別協力：コレド室町YUITO日本橋室町野村ビル
対　象：産地、組合、メーカー、小売、一般
来場者数：10,000人（2013年度）

■内容
「きものサローネin日本橋」は、中央区日本橋の東京織物卸商業組合をはじめ、日本のきもの産地やメーカー、小売店がオールジャパンで「きものを次世代につなぐ」きもの文化活動です。かつて日本の主要経済であったきもの産業は年ごとに大幅な縮小を余儀なくされてきましたが、そうした中、業界の活性化と広くきもの文化を次世代につなぐための一つのアクションプランとしてのイベント「きものサローネin日本橋」をボランティアが集まり開催しました。初開催となった2012年には約2,000人のきものファンが来場し大きな反響を呼び、2013年度には開催期間と会場の規模を拡大し、延べ1万人の来場者を集め一大きもの文化活動の様相で熱気に包まれました。「きものサローネin日本橋2014」では、2会場で合計6日間の開催されました。

パートナーイベント　映文連　国際短編映像祭「映文連アワード 2014」

名　称：映文連　国際短編映像祭「映文連アワード2014」
会　期：2014年11月17日～19日
会　場：表彰式：国立新美術館講堂／上映会：シネマート六本木
主　催：（公社）映像文化製作者連盟
後　援：文部科学省／経済産業省／東京都／映像産業振興機構／（一社）日本映画テレビ技術協会／
（一社）日本アド・コンテンツ制作社連盟／（一社）日本ポストプロダクション協会／日本映画撮影監督協会／
日本映画テレビ照明協会／（一財）高度技術社会推進協会（TEPIA）／毎日新聞社／日本経済新聞社／映像新聞社／
ユニ通信社
対　象：一般観客、映像制作関連業種関係者及びそれらの職種を目指す学生等
来場者数：730人（2013年度）

■内容
「映文連アワード」は、国内唯一の産業・文化関連の短編映像祭であり、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品を積極的に発掘・ 顕彰することによって短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能（学生・ 個人）を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能を担うことを目的として、2007年に創設されました。
一方、「International Corporate Film Showing」（世界の優秀企業映像を見る会）では、アメリカ・ ドイツ・ フランスの海外映像祭と連携し、国内では鑑賞の機会が少ない海外の優れた企業映像の紹介に努めています。

パートナーイベント　京都ヒストリカ国際映画祭

名　称：京都ヒストリカ国際映画祭
会　期：2014年12月6日～14日（日）
会　場：京都文化博物館／京都みなみ会館
主　催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会（東映㈱京都撮影所／㈱松竹撮影所／京都府／立命館大学／京都文化博物館／㈱東映京都スタジオ／巌本金属㈱）
共　催：KYOTO CMEX実行委員会
後　援：（一社）日本映画製作者連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／（一社）日本映画テレビ技術協会／中華人民共和国駐大阪総領事館／在日ウクライナ大使館
協　賛：㈱テスパック／三井ガーデンホテル京都四条
協　力：大垣書店
対　象：一般
来場者数：2,338名（2013年度）

■内容
京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭であり、英語チャンバラワークショップ、企画コンペなどを併せ持つ、既存の映画祭の枠を超えた全く新しいタイプの映画祭です。

パートナーイベント　第36回PFFぴあフィルムフェスティバル

名　称：第36回PFFぴあフィルムフェスティバル
会　期：2014年12月13日～12月23日、2015年1月3日～2015年1月9日
会　場：東京国立近代美術館フィルムセンター／京都シネマ／愛知芸術文化センター アートスペースA／神戸アートビレッジセンター／福岡総合図書館 映像ホール・シネラ
主　催：PFFパートナーズ＝ぴあ、ホリプロ、日活／（公財）ユニジャパン
共　催：東京国立近代美術館フィルムセンター
後　援：（一社）日本映画製作者連盟／NPO法人映像産業振興機構（VIPO）／協同組合日本映画監督協会
協　力：早稲田大学／J-WAVE／日本映画ペンクラブ
特別協賛：セガサミーホールディングス㈱
特別助成：（一社）映画演劇文化協会
対　象：一般、映画監督志願者、映画製作・配給等関係者、映画・映像教育機関関係者

■内容
“映画の新しい才能の発見と育成”をテーマに、当時、まだ観る機会の少なかったインディペンデント映画の面白さを広く伝えるため、1977年に東京でスタートした映画祭です。メインプログラムであり、開催当初より続く世界でも珍しい自主製作映画のコンペティション「PFFアワード」の入選者の中からは、後にプロの映画監督として活躍する人たちが続々と出現し、若く新しい才能が集う場所としても広く認知されるようになりました。また、コンペティション部門以外でも、フランソワ・トリュフォー、マキノ雅弘、テオ・アンゲロプロス、ミヒャエル・ハネケ、ロバート・アルトマン、ダグラス・サークといった監督の特集企画を組むなど、通常の映画館ではなかなか観ることのできない国内外の映画を紹介し続けています。

コ・フェスタアンバサダー

■施策
コ・フェスタ事業の取り組みの一環として、2012年度よりコ・フェスタアンバサダー施策を継続し実行している。同施策の目的は、外国人消費者の声からマーケットの実態を把握しコンテンツ業界関係者に届けること（マーケティング）、そして、クールジャパンの魅力を外国人消費者の声を通じて自国はじめ海外に広く紹介すること（プロモーション）である。

■選考
コ・ フェスタアンバサダー（以下、アンバサダー）の選考基準は、日本コンテンツのファンであり、SNSなどを駆使した発信力のある外国人であることが前提条件である。そして、日本国内の在住者においては、日本の文化やコンテンツを深く理解する外国人留学生を中心に「国内アンバサダー」、海外においては、日本コンテンツに関わるファン活動を実施し影響力を持つ学生や外国人インフルエンサーを中心に「海外アンバサダー」、としてアンバサダーに任命した。

公募の結果、合計154名のアンバサダー登録があった。出身国は、36ヵ国・地域に渡る（アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インド、インドネシア、オーストラリア、オーストリア、カザフスタン、カナダ、カンボジア、グアテマラ、コロンビア、シンガポール、スペイン、タイ、チュニジア、ドイツ、ニュージーランド、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベトナム、ポーランド、香港、マレーシア、ミャンマー、メキシコ、モンゴル、ロシア、韓国、台湾、中国）。

海外アンバサダーにおいては、ASEAN地域を中心とした日本コンテンツ関連学生コミュニティの代表に巻き込みに成功した。彼らを中心に、世界各国における学生ネットワークを活用した日本コンテンツの海外進出支援組織設立を視野に入れている。

■活動内容
アンバサダーの主な活動として、「1.海外調査」「2.フィードバック」「3.海外PR活動」「4.海外への情報発信」の4つが挙げられる。
1.海外調査……アンバサダーの人的ネットワークを活用し、海外のコンテンツ消費の実態を調査。本年度の活動はJ-LOP・JETRO・ABPF主催セミナーでのプレゼンテーションやJapan Content Showcaseニュースレターでのアンバサダー記事掲載などが挙げられる。
2.フィードバック……コ・ フェスタイベントに参加し、外国人消費者としての声を主催者へフィードバックする。また、ニーズに応じて関係省庁やコ・フェスタ関連の企業へ訪問し、グループインタビューにて外国人消費者の意見を提供する。
3.海外PR活動……海外アンバサダーのネットワークを使い、現地でのPR（集客・イベント展開等）を支援する。今年度は「マンガフェスティバル in インドネシア」のひとつのプログラムとして、インドネシア大学でのシンポジウムを企画・実施した。
4.海外への情報発信……アンバサダーがコ・フェスタイベントを訪問し、SNS等を通じて、日本コンテンツの魅力を海外に発信する。

オリエンテーション

海外アンバサダー　経済産業省表敬訪問

コ・フェスタアンバサダー

■活動記録
日本在住の外国人留学生で構成される国内アンバサダーを中心として、コ・フェスタのイベントへの参加、企業訪問などを通じて、イベント主催者へフィードバックし、海外への情報発信を積極的に行った。ニーズに応じて、アンバサダーネットワークを活用したアンケート調査も遂行した。

【訪問イベント】
・京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2014／KYOTO CMEX 2014
・東京ゲームショウ 2014
・日本ゲーム大賞 2014
・CEATEC JAPAN 2014
・第 41 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
・TIFFCOM 2014
・第 11 回東京国際ミュージックマーケット
・東京国際アニメ祭 2014 秋
・第 27 回東京国際映画祭
・デジタルコンテンツ EXPO 2014
・国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2014
・Inter BEE 2014
・AnimeJapan 2015

京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）2014

東京ゲームショウ 2014

CEATEC JAPAN 2014

第 41 回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール

第 11 回東京国際ミュージックマーケット（TIMM）

東京国際アニメ祭 2014 秋

第 27 回東京国際映画祭

デジタルコンテンツ EXPO 2014

国際ドラマフェスティバル in TOKYO 2014

マンガフェスティバル in インドネシア

Inter BEE 2014

AnimeJapan 2015

コ・フェスタアンバサダー

【訪問企業】
・株式会社手塚プロダクション
・日本放送協会（NHK WORLD）
・エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
・東宝株式会社（東宝スタジオ）

エイベックス

東宝スタジオ

海外アンバサダー向けの施策として、ASEAN地域（インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア）の日本コンテンツ関連学生コミュニティの代表計6名を10月22～27日の期間で日本に招聘した。コ・フェスタのイベントや企業への訪問に加え、経済産業省メディアコンテンツ課へ表敬訪問し、学生ネットワークを活用した日本コンテンツの海外進出支援を目的に、「1. 各国の若者に関するトレンド調査」「2. 大学内でのプロモーション活動」「3. 各国の日本コンテンツイベントの実態調査」の活動を中心とした組織の立ち上げを提言した。

また、「TIFFCOM2014」「TBS DigiCON 6」「AnimeJapan 2015」シンガポールで開催された「Genki! J-POP NIGHT」向けに語学堪能なアンバサダーをインターン生として派遣し、それぞれの主催者のニーズに合わせた業務を遂行した。

そして、活動のまとめとして、アンバサダー視点による日本コンテンツの海外発信につながる知見やアイディアを共有すべく、2014年3月27日に経済産業省にて、『日本コンテンツの海外発信アイデアコンテスト2015』として、4チーム合計10名がプレゼンテーションを行った。メキシコチームは「イスパノアメリカでJ Musicを流行らせるガイドライン」、ベトナムチームは「ベトナムで日本テレビ番組をヒットさせるには？」、アラブ世界チームは「アラブ世界における日本コンテンツの実態」、フィリピンチームは「フィリピンで日本映画を流行らせるコツ」について各プレゼンテーションを行った。最優秀賞はベトナムチーム、経済産業省特別賞はフィリピンチームに授与された。

海外発信アイデアコンテスト 2015

海外発信アイデアコンテスト 2015

一体感の創出　公式行事等への実行委員会正副委員長の出席

●東京ゲームショウ2014　開会式
9月18日（木）9:30～　幕張メッセ
コ･フェスタ側出席者：依田　巽　副委員長
主催者側出席者：鵜之澤　伸　（一社）コンピューターエンターテインメント協会会長
辻本　春弘　（一社）コンピューターエンターテインメント協会理事
長田　公平　㈱日経BP社代表取締役社長
石川　正樹　経済産業省大臣官房審議官

●KYOTO CMEX 2014　オープニングレセプション
9月19日（金）18:30～　桜鶴苑
コ･フェスタ側出席者：松谷　孝征　副委員長
主催者側出席者：山下　晃正　京都府副知事
門川　大作　京都市長
立石　義雄　京都商工会議所会頭
齋藤　茂　KYOTO CMEX実行委員長

●第41回「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール
授賞式・レセプション
10月21日（火）16:30～　NHK放送センター
コ･フェスタ側出席者：大谷　信義　実行委員長
依田　巽　副委員長
重延　浩　副委員長
来賓：皇太子殿下
主催者側出席者：西銘恒三郎　総務副大臣
藤井　基之　文部科学副大臣
中山　泰秀　外務副大臣
松山　英幸　東京都教育庁次長
高木　陽介　経済産業副大臣
前田エレナ
安藤　裕康　国際交流基金理事
平林　国彦　ユニセフ東京事務所代表
籾井　勝人　日本放送協会会長
塩野　宏　放送文化基金理事長
加藤　玲子　日本ユネスコ協会連盟副会長
（授賞順）

●東京ドラマフェスティバル in TOKYO 2014
東京ドラマアウォード2014授賞式・パーティー
10月23日（木）13:00～　東京プリンスホテル
コ･フェスタ側出席者：重延　浩　副委員長
依田　巽　副委員長
松谷　孝征　副委員長
主催者側出席者：関　芳弘　経済産業大臣政務官
長谷川　岳　総務大臣政務官
重村　一　副委員長兼EP
木田　幸紀　副委員長
山田　良明　選考委員長
亀山　千広　民放連副会長
板野　裕爾　NHK専務理事放送総局長

●デジタルコンテンツEXPO 2014　授賞式
10月23日（木）17:00～　日本科学未来館
コ･フェスタ側出席者：松谷　孝征　副委員長
主催者側出席者：根本　章二　（一財）デジタルコンテンツ協会会長
石川　正樹　経済産業省大臣官房審議官（IT戦略担当）

●第27回東京国際映画祭
オープニングセレモニー、レセプション
10月23日（木）18:30～　六本木ヒルズ
コ･フェスタ側出席者：大谷　信義　実行委員長
依田　巽　副委員長
松谷　孝征　副委員長
来賓：高円宮妃久子殿下
安倍　晋三　内閣総理大臣
甘利　明　内閣府特命担当大臣
主催者側出席者：椎名　保　第27回東京国際映画祭ディレクタージェネラル
島谷　能成　第27回東京国際映画祭実行委員長
迫本　淳一　（公財）ユニジャパン理事長

●第11回文化庁映画週間　平成26年度文化庁映画賞贈呈式
10月17日（金）18:00～
六本木ヒルズ　グランドハイアット東京2階「コリアンダー」
コ･フェスタ側出席者：迫本　淳一　副委員長
主催者側出席者：青柳　正規　文化庁長官
椎名　保　第27回東京国際映画祭ディレクタージェネラル

●第31回ATP賞テレビグランプリ2014　授賞式
11月27日（木）16:00～　六本木ハリウッドホール
コ･フェスタ側出席者：重延　浩　副委員長
主催者側出席者：安藤　友裕　総務省情報流通行政局長
籾井　勝人　日本放送協会会長
井上　弘　日本民間放送連盟会長
倉内　均　全日本テレビ番組製作社連盟（ATP）理事長

プロモーション　広報制作物／百人委員会の活性化

■広報制作物

●ポスター

数　量：
仕　様：フルカラー
配布先：実行委員会、オフィシャルイベント事務局、関連省庁、自治体、
その他関係団体など

●コ・フェスタ2014オフィシャルウェブサイト

ＵＲＬ：http://www.cofesta.jp/
言　語：日本語、英語
facebook：http://www.facebook.com/CoFesta
twitter：cofesta_2014

コ・フェスタ facebook ページ

コ・フェスタ ポスター

■百人委員会の活性化

●百人委員会の各社に対し、JAPACONを活用した情報発信支援の提案

情報発信支援：　11社

百人委員会　事業者	JAPACONでの情報発信
トヨタ自動車	トヨタ夢のクルマアートコンテスト
大和証券グループ本社・毎日放送	「薬師寺音舞台」イベント紹介
株式会社コーエーテクモゲームス	日本メディア＆ユーザー向けプロモーションリリース 及び海外販社（米 欧 台湾）が独自に発信する 海外メディア＆ユーザー向けプロモーションリリース
讀賣新聞	読売新聞発行の英字紙「ジャパン・ニューズ」のPOP☆COOL面
株式会社トーハン	ジャパンエキスポ（パリ）、動漫節（台北）等における取組紹介
株式会社ポニーキャニオン	音楽、教養、文芸、スポーツ、アニメ、映画、娯楽など 各種パッケージソフト（CD、DVD、BD等）及び デジタルコンテンツ、TV、劇場配給などオールライツのライセンス情報を掲載した 海外向けウェブサイトの紹介
デジタルハリウッド	海外ユーザーへのデジタルハリウッド大学紹介
森ビル	Innovative City Forum イベント紹介
NHK Enterprises, Inc.	カワイイ・ドット・アイ 番組紹介
吉本興業株式会社	アジア事業展開についての紹介
株式会社東芝	Human Smart Communityの紹介

コ・フェスタ（JAPAN 国際コンテンツフェスティバル）2014 実施報告書

発行日：2015年3月
発　行：コ・フェスタ実行委員会
デザイン監修：㈱サムライ
Printed in JAPAN
© VIPO

住　所：東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8F
NPO法人 映像産業振興機構（VIPO）内
電　話：03-3543-7321
F A X：03-3543-7322
U R L：http://www.cofesta.jp/
Eメール：info@cofesta.jp

※著作権者から文書による許諾を得ずに、無断で複写・複製することは禁じられています。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。
VEGETABLE OIL INK
R100